

令和4年度

大気汚染調査結果報告書

令和5年9月

鳥取県

この報告書は、大気汚染防止法第 18 条の 39、第 20 条、第 22 条の規定に基づいて実施した県下の大気汚染調査結果について、令和 4 年度分をとりまとめたものです。

令和 5 年 9 月

鳥取県生活環境部環境立県推進課

目 次

I	自動測定局による大気汚染物質の測定結果	1
1	監視体制	
2	調査結果	
(1)	概要	
(2)	二酸化いおう	
(3)	浮遊粒子状物質	
(4)	二酸化窒素	
(5)	一酸化炭素	
(6)	光化学オキシダント	
(7)	炭化水素	
(8)	微小粒子状物質	
II	有害大気汚染物質モニタリング調査結果	9
1	監視体制	
2	測定結果	
III	石綿粉じん濃度調査結果	12
1	調査概要	
2	調査結果	
IV	資料	14
1	自動測定局の測定結果	
(1)	年間値（一般環境大気測定局）	
(2)	年間値（自動車排出ガス測定局）	
(3)	月間値（測定項目別）	
(4)	経年変化（一般環境大気測定局）	
(5)	経年変化（自動車排出ガス測定局）	
2	有害大気汚染物質モニタリング調査結果	
(1)	個別結果	
(2)	経年変化	
V	大気の汚染に係る環境基準と評価方法	45
1	環境基準	
2	評価方法	
3	大気中炭化水素（非メタン）濃度の指針	
4	環境中の有害大気汚染物質による環境リスクの低減を図るための指針となる数値	
5	緊急時の基準	

I 自動測定局による大気汚染物質の測定結果

I 自動測定局による大気汚染物質の測定結果

1 監視体制

大気汚染の状況を把握するために、県及び鳥取市が設置する一般環境大気測定局（一般局）及び自動車排出ガス測定局（自排局）において測定を行った。

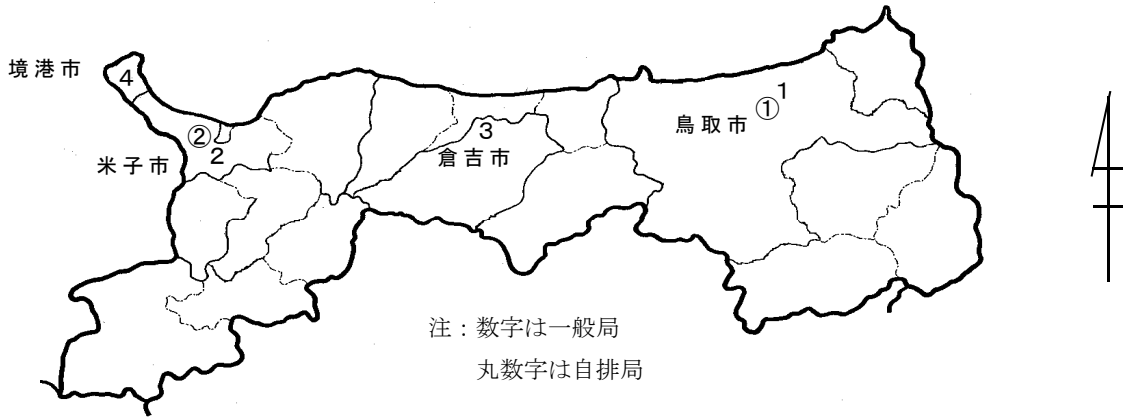


図 1-1 大気測定局位置図

表 1-1 大気測定局測定項目

測定項目

測定局 (区分)	測定局	住所	測定項目									測定主体
			二酸化 いおう	一酸化 炭素	浮遊粒 子状物 質	窒素酸 化物	光化学 オキシ ダント	炭化 水素	微小粒 子状物 質	風向 風速		
1	一般局 鳥取 ※1	県庁西町 分庁舎	鳥取市 西町 1-401	○	○	○	○	○	—	○	○	鳥取市
2	一般局 米子	米子 保健所	米子市 東福原 1-1-45	○	—	○	○	○	○ ※2	○	○	鳥取県
3	一般局 倉吉	倉吉 保健所	倉吉市 東巖城町 2	○	—	○	○	○	—	○	○	
4	一般局 境港	境港市 誠道町	境港市 誠道町 225-1	—	—	○	—	—	—	○	○	
①	自排局 鳥取※	栄町 交差点	鳥取市 栄町 502	—	○	○	○	—	—	—	○	鳥取市
②	自排局 米子	米子 市役所前	米子市 加茂町 1-1	—	○	○	○	—	—	—	○	鳥取県

※1 一般局鳥取及び自排局鳥取は、平成 30 年度から鳥取市の中核市移行に伴い、鳥取市が測定を実施している。

なお、一般局鳥取については、平成 14 年 11 月までは「(旧)鳥取県衛生研究所(鳥取市松並町 2 丁目)」、平成 27 年 4 月までは「鳥取保健所(鳥取市江津 730)」、平成 27 年 5 月からは「県庁西町分庁舎(鳥取市西町 1-401)」で測定を実施している。

※2 令和 5 年 3 月から測定を開始。

測定方法

二酸化いおう	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	窒素酸化物	光化学オキシダント	炭化水素	微小粒子状物質
紫外線蛍光法	非分散型赤外分析法	ベータ線吸収法	オゾンを用いる 化学発光法	紫外線吸収法	水素炎イオン化 検出機器を用いた 直接法	ベータ線吸収法

2 調査結果

(1) 概要

令和4年度の環境基準の達成状況は、表1-2のとおりであり、二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素、微小粒子状物質について、測定を行ったすべての局で環境基準を達成した。

光化学オキシダントについては、全ての局で環境基準を達成しなかった。

表 1-2 環境基準達成状況

測定局区分	測定局	二酸化 いおう	浮遊粒子 状物質	二酸化 窒素	一酸化 炭素	光化学 オキシダント	微小粒子 状物質
一般局鳥取	県庁西町分庁舎	○	○	○	○	×	○
一般局米子	米子保健所	○	○	○	—	×	○
一般局倉吉	倉吉保健所	○	○	○	—	×	○
一般局境港	境港市誠道町	—	○	—	—	—	○
自排局鳥取	栄町交差点	—	○	○	○	—	—
自排局米子	米子市役所前	—	○	○	○	—	—

注) ○：達成、×：非達成、△：長期基準達成・短期基準非達成

(2) 二酸化いおう

ア 環境基準の達成状況

毎年環境基準を達成しており、令和4年度も測定を行ったすべての地点で環境基準を達成した。(表4-1、5-1参照)

イ 経年変化

年平均値の経年変化は図1-2のとおりであり、いずれの地点も近年横ばい状態である。(表6-1参照)

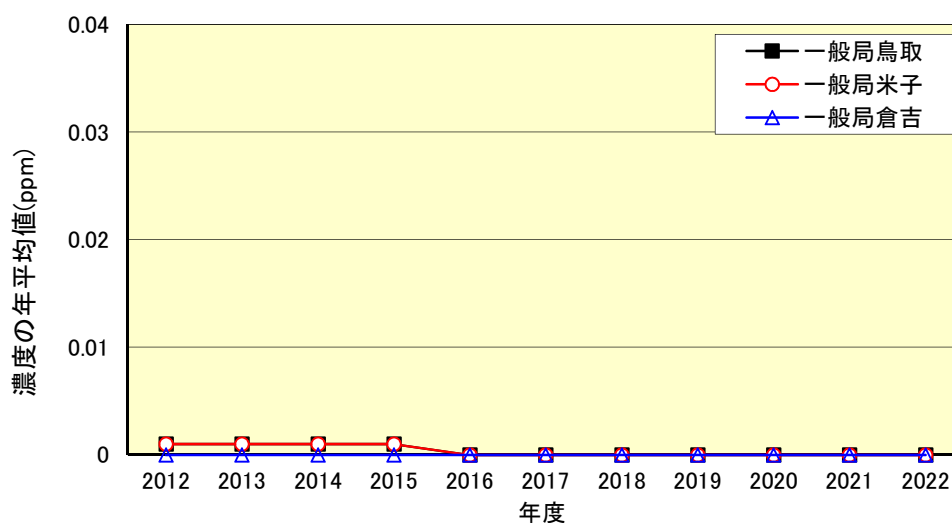


図1-2 二酸化いおうの年平均値(一般環境大気測定局)

(3) 浮遊粒子状物質

ア 環境規準の達成状況

令和3年度は米子保健所及び倉吉保健所で短期基準が非達成となったが、令和4年度は測定を行ったすべての地点で環境基準を達成した。(表4-2、4-10、5-2参照)

イ 経年変化

経年変化は図1-3及び1-4のとおりであり、近年横ばい状態である。(表6-2、6-10参照)

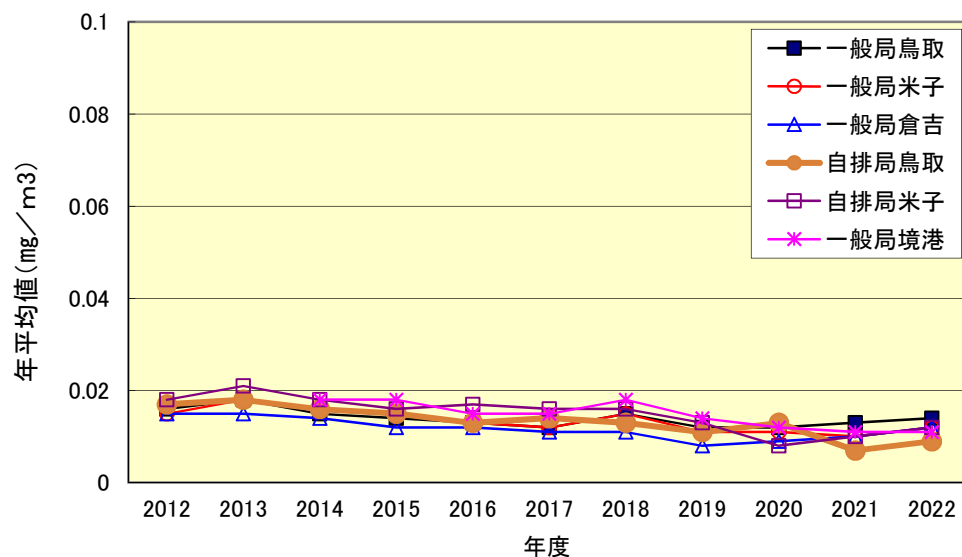


図1-3 浮遊粒子状物質の年平均値

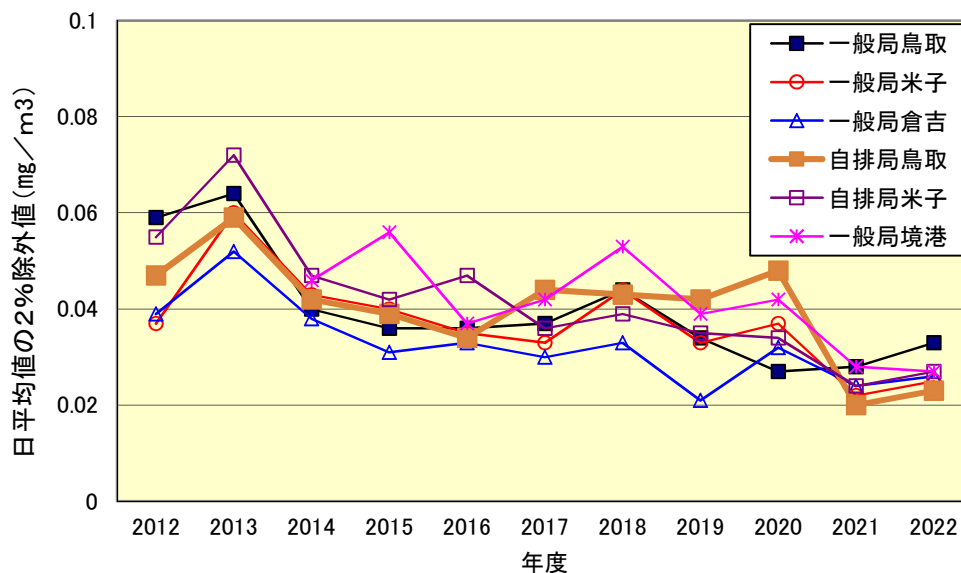


図1-4 浮遊粒子状物質の2%除外値

(4) 二酸化窒素

ア 環境基準の達成状況

毎年環境基準を達成しており、令和4年度も測定を行った全ての地点で環境基準を達成した。(表4-3~4、4-11~12、5-3~5参照)

イ 経年変化

経年変化は、図1-5及び1-6のとおりで、自排局鳥取では減少傾向で推移している。その他の地点は、比較的近年横ばい状態である。

(表6-3~4、6-11~12)

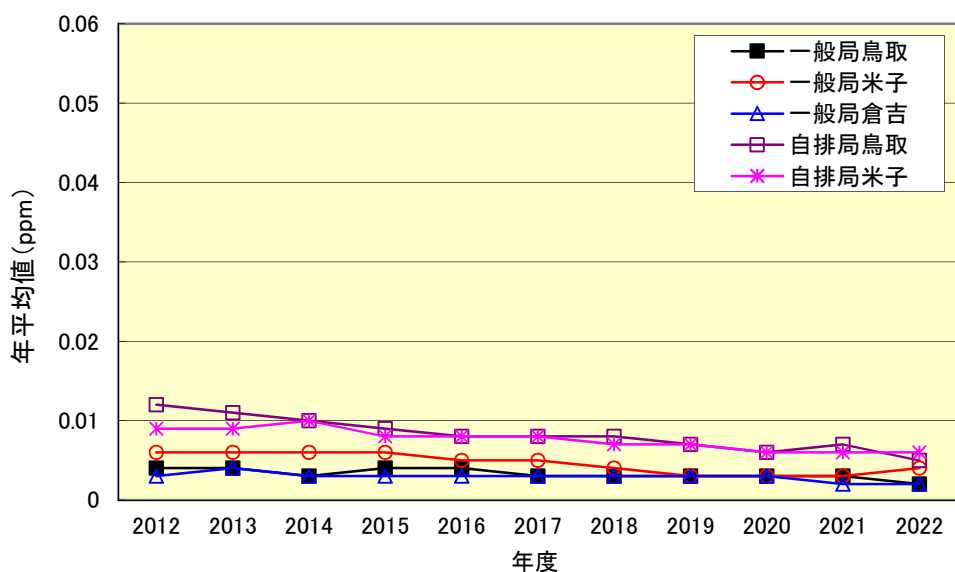


図1-5 二酸化窒素の年平均値

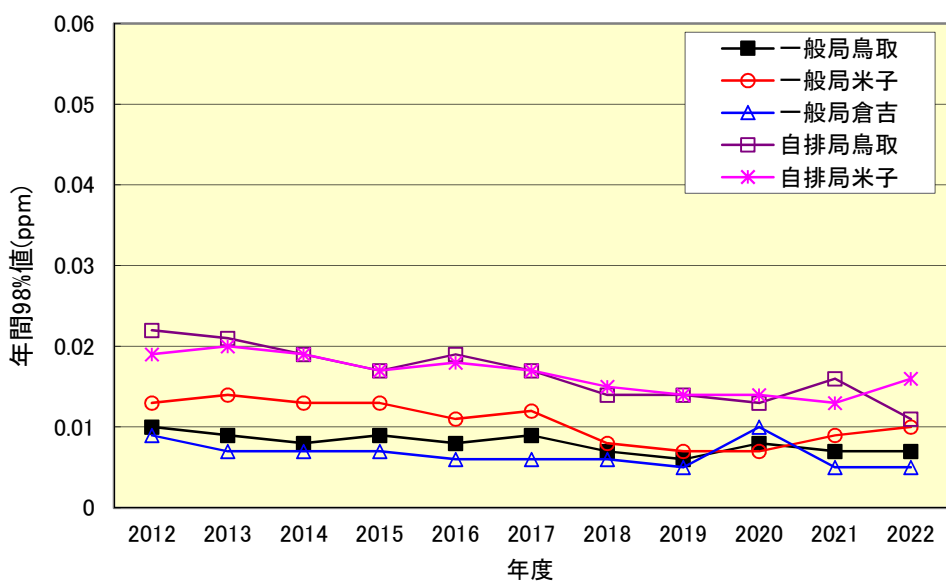


図1-6 二酸化窒素の98%値

(5) 一酸化炭素

ア 環境基準の達成状況

毎年環境基準を達成しており、令和4年度も測定を行ったすべての地点で環境基準を達成した。(表4-5、4-13、5-6参照)

イ 経年変化

年平均値の経年変化は図1-7のとおりであり、いずれの地点も横ばい状態で低いレベルで推移している。(表6-5、6-13参照)

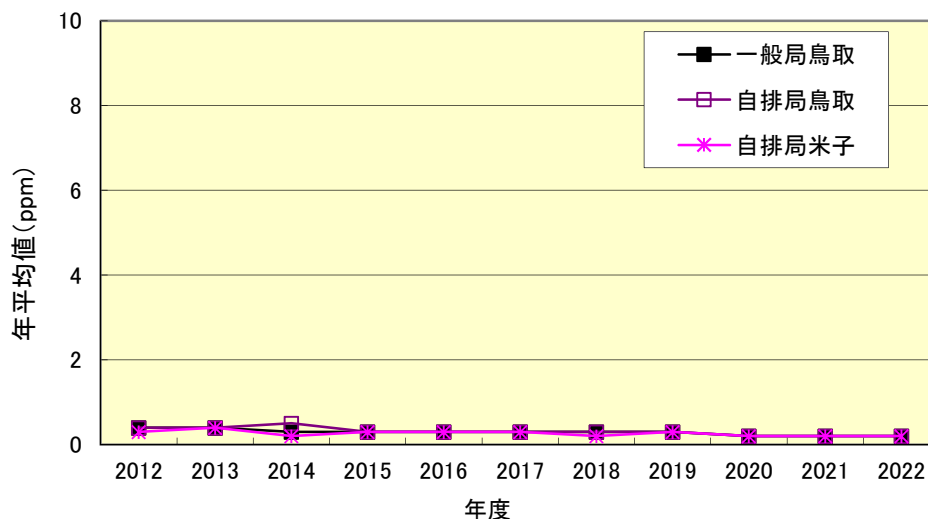


図1-7 一酸化炭素の年平均値

(6) 光化学オキシダント

ア 環境基準の達成状況

令和4年度に測定を行ったすべての地点で環境基準(0.06ppm以下)を達成しなかった。なお、光化学オキシダントについては、全国的に環境基準達成率が非常に低い水準で推移しており、全国の測定局(一般局)における環境基準達成率は、令和3年度は0.2%であった。(表4-6、5-7参照)

イ 経年変化

年平均値の推移は、図1-8のとおりであり、近年横ばいで推移している。また、年最高濃度の推移は図1-9のとおりである。(表6-6参照)

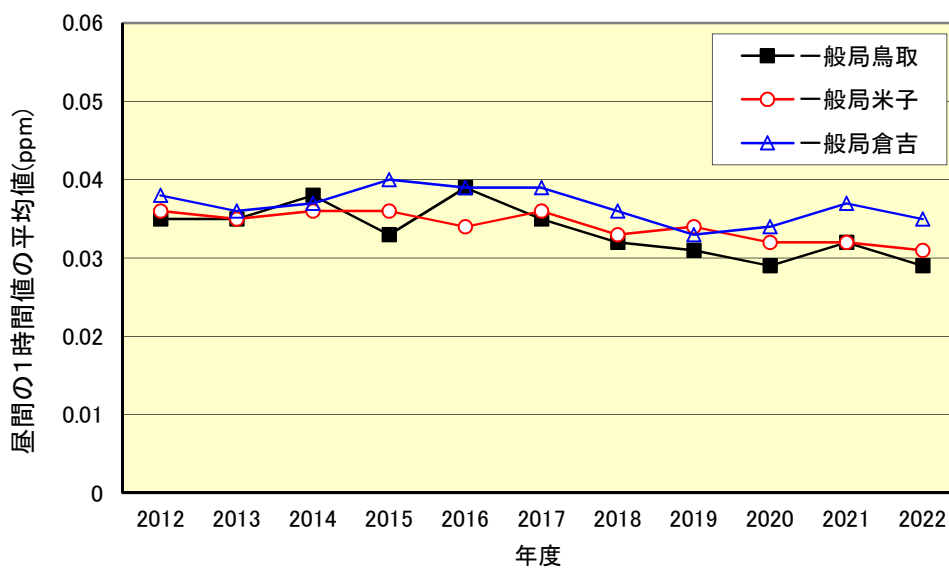


図1-8 光化学オキシダント年平均値

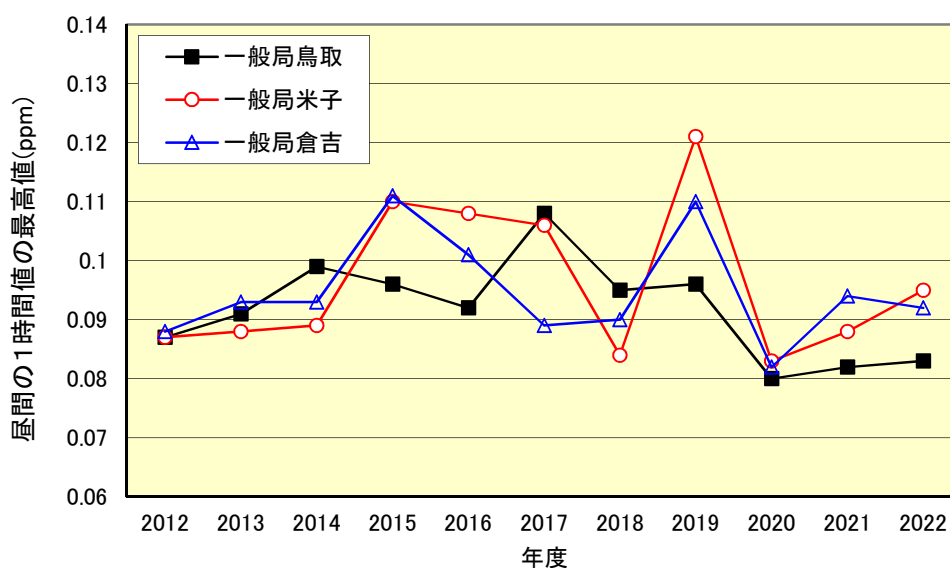


図1-9 光化学オキシダント年最高濃度

(7) 炭化水素

光化学オキシダント生成の原因物質であることから指針値が定められている非メタン炭化水素については、一般局鳥取において測定を行っていたが、機器故障のため令和2年度より測定を中止していた。一般局米子で令和5年3月から新たに測定を開始している。

なお、参考として2012年から2019年の6～9時年平均値の経年変化を図1-10に示す。
(表6-7～8参照)

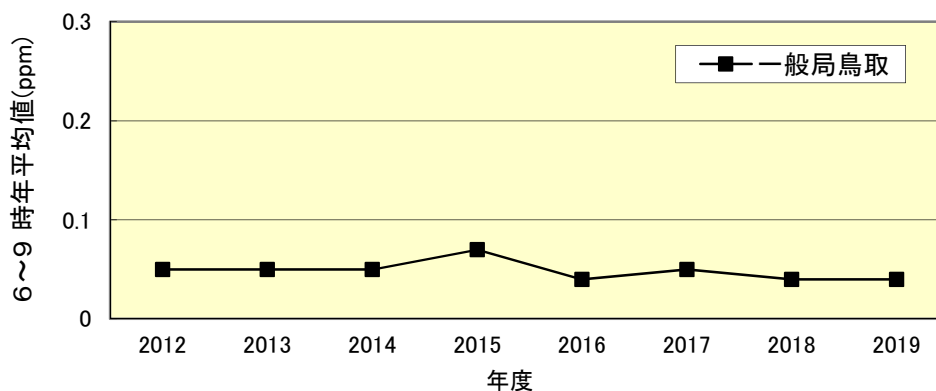


図1-10 非メタン系炭化水素の年平均値

(8) 微小粒子状物質

平成 21 年 9 月に環境基準が設定された後、平成 23 年度から鳥取保健所において国試行事業として測定を開始した。また、平成 25 年 2 月から米子保健所において、平成 25 年 9 月から倉吉保健所において、平成 26 年 3 月から境港市誠道町において測定を開始し、現在、県内 4 局で測定を実施している。

令和 4 年度は、全ての地点で環境基準を達成した。(表 4-9、5-8、6-9 参照)

一般局鳥取では、2012 年度の年平均値と比較して、約 49.7%減少している。

表 1-3 微小粒子状物質の長期的評価結果

測定局区分	測定局	長期基準 (環境基準：年平均 $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$)	短期基準 (環境基準：日平均 $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$)
一般局鳥取	県庁西町分庁舎	8.3	18.8
一般局米子	米子保健所	10.3	21.6
一般局倉吉	倉吉保健所	9.5	22.2
一般局境港	境港市誠道町	7.6	19.5

※長期基準及び短期基準の評価方法の詳細については 49 ページを参照

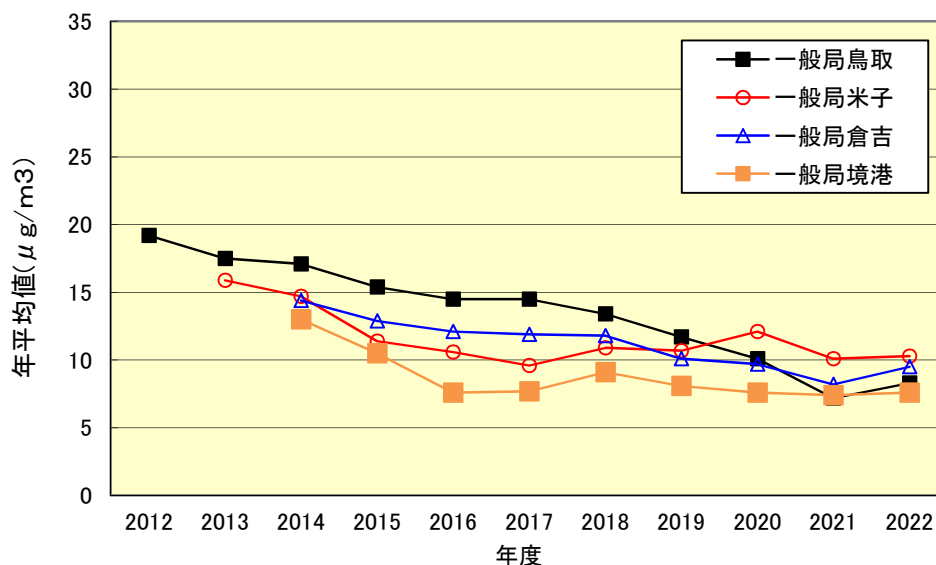


図1-11 微小粒子状物質の年平均値

Ⅱ 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

II 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

1 監視体制

環境省が定めている「優先取組物質」について、本県では、平成10年3月から監視体制を整備して測定を行っており、令和4年度は、ベンゼン等21物質について、調査（毎月1回、24時間連続サンプリング）を行った。

なお、倉吉保健所においては、平成17年度から平成20年度まで環境省が観測地点として調査を行ってきた。

表 2-1 有害大気汚染物質モニタリング調査地点

区分	調査地点	住所	調査主体	
全国標準監視地点	一般環境（鳥取）	県庁西町分庁舎	鳥取市西町1-401	鳥取市
	一般環境（米子）	米子保健所	米子市東福原1-1-45	鳥取県
	一般環境（倉吉）	倉吉保健所	倉吉市東巖城町2	
地域特設監視地点	沿道（鳥取）	栄町交差点	鳥取市栄町502	鳥取市
	沿道（米子）	米子市役所前	米子市加茂町1-1	鳥取県

※平成29年度まで全国標準監視地点（一般環境）として県庁西町分庁舎（鳥取市西町1-401）、地域特設監視地点（沿道）として栄町交差点（鳥取市栄町502）において、県が測定を実施していたが、鳥取市の中核市移行に伴い、平成30年度から鳥取市が測定を実施。

表 2-2 有害大気汚染物質モニタリング調査項目

1	アクリロニトリル	12	トリクロロエチレン
2	アセトアルデヒド	13	トルエン
3	塩化ビニルモノマー	14	ニッケル化合物
4	塩化メチル	15	ヒ素及びその化合物
5	クロム及びその化合物	16	1, 3-ブタジエン
6	クロロホルム	17	ベリリウム及びその化合物
7	酸化エチレン	18	ベンゼン
8	1, 2-ジクロロエタン	19	ベンゾ [a] ピレン
9	ジクロロメタン	20	ホルムアルデヒド
10	水銀及びその化合物	21	マンガン及びその化合物
11	テトラクロロエチレン		

注) 1 「優先取組物質」には、「クロム及び三価クロム化合物」及び「六価クロム」がリストアップされているが、当面、クロム及びその化合物の全量を測定することとされている。なお、令和5年5月に「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」の改訂により、六価クロムの測定方法が示されたため、県においても測定法の検討を進めている。

2 「優先取組物質」のうち、ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法により別途調査を実施。

2 測定結果

優先取組物質（ダイオキシン類を除く）のうち、環境基準が定められているテトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、ジクロロメタンの4物質については、すべての地点で環境基準値を達成した。

また、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（以下、「指針値」という。）が定められているアクリロニトリル等11物質についても、すべての地点で指針値以下であった。（表7-1～21参照）

表 2-3 有害汚染物質モニタリング調査結果（年平均値）※環境基準又は指針値が定められている物質

区分	ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	テトラクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
一般環境（鳥取）	0.42	0.027	0.010	0.66
一般環境（米子）	0.52	0.094	0.077	0.57
一般環境（倉吉）	0.47	0.031	0.026	0.59
沿道（鳥取）	0.52	0.014	0.005	0.80
沿道（米子）	0.56	0.13	0.025	0.58
環境基準	3	130	200	150

区分	アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	アセトアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	塩化ビニル モノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	塩化メチル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	クロロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
一般環境（鳥取）	0.0047	1.3	0.0042	1.2	0.12
一般環境（米子）	0.029	1.3	0.010	1.5	0.15
一般環境（倉吉）	0.044	0.82	0.0085	1.4	0.16
沿道（鳥取）	0.0031	1.4	0.0029	1.2	0.12
沿道（米子）	0.041	0.89	0.0092	1.5	0.16
指針値	2	120	10	94	18

区分	1,2-ジクロロ エタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	水銀及び その化合物 (ngHg/m^3)	ニッケル 化合物 (ngNi/m^3)	ヒ素及びその 化合物 ($\text{ng-As}/\text{m}^3$)	1,3-ブタジ エン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	マンガン及び その化合物 (ngMn/m^3)
一般環境（鳥取）	0.087	1.3	1.0	1.2	0.0044	5.8
一般環境（米子）	0.11	1.5	2.5	2.0	0.027	15
一般環境（倉吉）	0.11	1.2	1.4	1.9	0.022	11
沿道（鳥取）	0.083	-	-	-	0.015	-
沿道（米子）	0.11	-	-	-	0.033	-
指針値	1.6	40	25	6	2.5	140

Ⅲ 石綿粉じん濃度調査結果

Ⅲ 石綿粉じん濃度調査結果

1 調査概要

県内における大気環境中の石綿（アスベスト）濃度の実態を把握するため、令和4年度も県内3ヶ所において調査を実施した。

2 調査結果

総繊維数が1本/Lを超えた地点は無かった。

石綿に係る環境基準は設定されていないが、大気汚染防止法に定める石綿製品等製造工場の敷地境界における濃度基準（10本/L）を大幅に下回る結果となり、世界保健機構（WHO）環境保健クライテリア（EHC53）で示される一般環境の値も下回っていた。

表 3-1 調査地点別の石綿粉じん濃度調査結果（定期調査）（単位：本/L）

調査地点		調査期間 ^{※1}	総繊維数 ^{※2} (幾何平均 ^{※3})
名称	所在地		
県庁西町分庁舎	鳥取市西町	令和4年6月20日～22日	0.15
		令和4年9月12日～14日	0.31
		令和4年12月12日～14日	0.15
		令和5年3月8日～10日	0.23
倉吉保健所	倉吉市東巖城町	令和4年6月20日～22日	0.24
		令和4年9月12日～14日	0.19
		令和4年12月12日～14日	0.21
		令和5年3月8日～10日	0.28
米子保健所	米子市東福原	令和4年6月20日～22日	0.23
		令和4年9月12日～14日	0.27
		令和4年12月12日～14日	0.15
		令和5年3月8日～10日	0.19

※1 調査期間内の3日間（4時間×3回）測定。

※2 総繊維数とは、アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）に基づき位相差顕微鏡法により長さが5μm以上、幅3μm未満、アスペクト比が3以上の繊維（石綿以外を含む）を計数したものの。（アスペクト比：長さ/幅）。1本/Lを超えた場合、当該繊維がアスベスト繊維かどうかを同定する。

※3 幾何平均は、3日間測定して得られた測定値を幾何平均した値。

【参考】

- ・大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準：10本/L
- ・世界保健機構（WHO）環境保健クライテリア（EHC53）：「都市における大気中の石綿濃度は、一般に1本以下～10本/Lであり、それを上回る場合もある。」「一般環境においては、一般住民への石綿曝露による中皮腫及び肺がんのリスクは、検出できないほど低い。すなわち、実質的には、石綿のリスクはない。」

IV 資料

1 自動測定局の測定結果

(1) 年間値（一般環境大気測定局）

表4-1 二酸化いおうの測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合(※1)		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合(※1)		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無(※2)	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数(※2)
	日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有：×、無：○	日
一般局鳥取	361	8611	0	0	0	0	0	0.006	0.001	○	0
一般局米子	363	8674	0	0	0	0	0	0.022	0.001	○	0
一般局倉吉	363	8661	0	0	0	0	0	0.013	0.001	○	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。
ただし、1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

表4-2 浮遊粒子状物質の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20 mg/m ³ を超えた時間数とその割合(※1)		日平均値が0.10 mg/m ³ を超えた日数とその割合(※1)		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無(※2)	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(※2)
	日	時間	mg/m ³	時間	%	日	%	mg/m ³	mg/m ³	有：×、無：○	日
一般局鳥取	365	8741	0.014	0	0	0	0	0.115	0.033	○	0
一般局米子	363	8700	0.012	0	0	0	0	0.113	0.025	○	0
一般局倉吉	355	8530	0.011	0	0	0	0	0.090	0.026	○	0
一般局境港	365	8730	0.011	0	0	0	0	0.149	0.027	○	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が0.10mg/m³以下であること。
ただし、1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しないこと。

表4-3 二酸化窒素の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合(※1)		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合(※1)		日平均値の年間98%値(※2)	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
	日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日
一般局鳥取	365	8706	0.002	0.024	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007	0
一般局米子	362	8635	0.004	0.031	0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0
一般局倉吉	362	8611	0.002	0.032	0	0	0	0	0	0	0	0	0.005	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(1日平均値の年間98%値)が0.06ppm以下であること。

表4-4 一酸化窒素、窒素酸化物の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NOx)					
	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	NO ₂ / (NO+NO ₂) (年平均値)
	日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
一般局鳥取	365	8706	0	0.042	0.003	365	8706	0.003	0.064	0.009	85.7
一般局米子	362	8635	0	0.035	0.003	362	8635	0.004	0.066	0.012	90.1
一般局倉吉	362	8611	0	0.013	0.001	362	8611	0.002	0.045	0.005	94.7

表4-5 一酸化炭素の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合(※1)		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合(※1)		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無(※2)	環境基準の長期的評価による日平均値が10ppmを超えた日数(※2)
	日	時間	ppm	回	%	回	%	ppm	ppm	有：×、無：○	日
一般局鳥取	364	8717	0.2	0	0	0	0	0.6	0.3	○	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が10ppm以下であること。

ただし、1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

表4-6 光化学オキシダントの測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間(※1)		昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間(※2)		昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値	昼間8時間値の日最高値の年間99パーセンタイル値の3年平均値(※3)
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm	ppm
一般局鳥取	365	5447	0.029	24	117	0	0	0.083	0.038	0.064
一般局米子	362	5369	0.031	30	166	0	0	0.095	0.040	0.067
一般局倉吉	365	5445	0.035	45	273	0	0	0.092	0.045	0.071

※1 環境基準：昼間(5～20時)の時間帯における1時間値が0.06ppm以下であること。

※2 大気汚染防止法第23条の「大気の汚染状況が著しくなり、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずるおそれがある場合」として緊急時の措置を行う基準：1時間値が0.12ppm以上である大気の汚染の状態になった場合。

※3 光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標。

表4-7 非メタン炭化水素の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間の平均値		6～9時3時間の平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合(※1)		6～9時3時間の平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合(※1)	
	時間	ppmC	ppmC	日	最高値	最低値	日	%	日	%
					ppmC	ppmC				
一般局鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度指針：午前6時～9時までの3時間平均値が0.20ppmCから0.31ppmC(炭素量への換算値)までの範囲またはそれ以下であること。

表4-8 メタン及び全炭化水素（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	メタン						全炭化水素					
	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値	
					最高値	最低値					最高値	最低値
時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	
一般局鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-9 微小粒子状物質の測定結果（一般環境大気測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値(※2)	日平均値の最高値	日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の98%値(※1)	98%値評価による日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数(※1)
	日	時間	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日
一般局鳥取	363	8714	8.3	22.4	0	0	46	18.8	0
一般局米子	362	8688	10.3	25.9	0	0	65	21.6	0
一般局倉吉	328	7866	9.5	24.8	0	0	63	22.2	0
一般局境港	365	8728	7.6	23.8	0	0	63	19.5	0

※1 環境基準の長期的評価としての短期基準：測定結果の1日平均値のうち年間98パーセント値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

※2 環境基準の長期的評価としての長期基準：測定結果の1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

(2) 年間値 (自動車排出ガス測定局)

表4-10 浮遊粒子状物質の測定結果 (自動車排出ガス測定局・令和4年度)

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m3を超えた時間数とその割合(※1)		日平均値が0.10mg/m3を超えた日数とその割合(※1)		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m3を超えた日が2日以上連続したことの有無(※2)	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m3を超えた日数(※2)
	日	時間	mg/m3	時間	%	日	%	mg/m3	mg/m3	有：×、無：○	日
自排局鳥取	364	8694	0.008	0	0	0	0	0.152	0.023	○	0
自排局米子	363	8695	0.012	0	0	0	0	0.127	0.027	○	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が0.10mg/m3以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m3以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が0.10mg/m3以下であること。
ただし、1日平均値が0.10mg/m3を超える日が2日以上連続しないこと。

表4-11 二酸化窒素の測定結果 (自動車排出ガス測定局・令和4年度)

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合(※1)		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合(※1)		日平均値の年間98%値(※2)
	日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm
自排局鳥取	251	6088	0.005	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011
自排局米子	312	7541	0.006	0.047	0	0	0	0	0	0	0	0	0.016

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(1日平均値の年間98%値)が0.06ppm以下であること。

表4-12 一酸化窒素、窒素酸化物の測定結果（自動車排出ガス測定局・令和4年度）

測定局区分	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NOx)					
	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	NO ₂ NO+NO ₂ (年平均値)
	日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
自排局鳥取	251	6088	0.002	0.127	0.005	251	6088	0.007	0.131	0.015	75.8
自排局米子	312	7541	0.002	0.133	0.010	312	7541	0.009	0.179	0.025	73.8

表4-13 一酸化炭素の測定結果（自動車排出ガス測定局・令和4年度）

測定局区分	有効測定日数	測定時間	年平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合(※1)		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合(※1)		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無(※2)	環境基準の長期的評価による日平均値が10ppmを超えた日数(※2)
				回	%	回	%				
自排局鳥取	365	8731	0.2	0	0	0	0	2.2	0.4	○	0
自排局米子	365	8726	0.2	0	0	0	0	0.8	0.3	○	0

※1 環境基準の短期的評価：1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

※2 環境基準の長期的評価：年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が10ppm以下であること。

ただし、1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

(3)月間値

表5-1 二酸化硫黄(SO₂)

一般局鳥取(県庁西町分庁舎)

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	711	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
5	31	739	0.000	0	0	0	0	0.003	○	0.002
6	30	716	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
7	31	739	0.000	0	0	0	0	0.001	○	0.001
8	31	739	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
9	29	691	0.000	0	0	0	0	0.001	○	0.001
10	28	675	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.000
11	30	716	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.000
12	31	738	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
1	31	740	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
2	28	668	0.000	0	0	0	0	0.005	○	0.001
3	31	739	0.000	0	0	0	0	0.006	○	0.003
通年	361	8611	0.000	0	0	0	0	0.006	○	0.003

日平均値の2%除外値(ppm): 0.001

環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数: 0

一般局米子(米子保健所)

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	716	0.000	0	0	0	0	0.003	○	0.001
5	31	740	0.001	0	0	0	0	0.003	○	0.001
6	30	715	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
7	31	739	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
8	31	737	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
9	30	716	0.000	0	0	0	0	0.001	○	0.000
10	31	740	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
11	30	715	0.000	0	0	0	0	0.005	○	0.001
12	29	712	0.000	0	0	0	0	0.016	○	0.002
1	31	740	0.000	0	0	0	0	0.010	○	0.001
2	28	667	0.000	0	0	0	0	0.008	○	0.002
3	31	737	0.000	0	0	0	0	0.022	○	0.002
通年	363	8674	0.000	0	0	0	0	0.022	○	0.002

日平均値の2%除外値(ppm): 0.001

環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数: 0

一般局倉吉(倉吉保健所)

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	715	0.000	0	0	0	0	0.003	○	0.002
5	31	740	0.000	0	0	0	0	0.004	○	0.002
6	30	714	0.000	0	0	0	0	0.003	○	0.001
7	31	741	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
8	31	739	0.000	0	0	0	0	0.003	○	0.001
9	30	716	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.000
10	29	707	0.000	0	0	0	0	0.001	○	0.001
11	30	711	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.000
12	31	737	0.000	0	0	0	0	0.002	○	0.001
1	31	739	0.000	0	0	0	0	0.008	○	0.001
2	28	664	0.000	0	0	0	0	0.013	○	0.002
3	31	738	0.000	0	0	0	0	0.005	○	0.002
通年	363	8661	0.000	0	0	0	0	0.013	○	0.002

日平均値の2%除外値(ppm): 0.001

環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数: 0

表5-2 浮遊粒子状物質 (SPM)

一般局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	717	0.013	0	0	0	0	0.053	○	0.020
5	31	743	0.014	0	0	0	0	0.051	○	0.023
6	30	719	0.015	0	0	0	0	0.057	○	0.024
7	31	743	0.020	0	0	0	0	0.115	○	0.037
8	31	742	0.024	0	0	0	0	0.109	○	0.045
9	30	719	0.015	0	0	0	0	0.072	○	0.027
10	31	741	0.011	0	0	0	0	0.044	○	0.014
11	30	718	0.012	0	0	0	0	0.060	○	0.019
12	31	742	0.011	0	0	0	0	0.037	○	0.015
1	31	743	0.011	0	0	0	0	0.052	○	0.017
2	28	671	0.011	0	0	0	0	0.064	○	0.016
3	31	743	0.014	0	0	0	0	0.052	○	0.024
通年	365	8741	0.014	0	0	0	0	0.115	○	0.045

日平均値の2%除外値(mg/m³):

0.033

環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m³を超えた日数:

0

一般局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	718	0.013	0	0	0	0	0.034	○	0.021
5	31	742	0.014	0	0	0	0	0.033	○	0.025
6	30	718	0.013	0	0	0	0	0.113	○	0.021
7	31	741	0.015	0	0	0	0	0.080	○	0.027
8	31	738	0.016	0	0	0	0	0.095	○	0.032
9	30	718	0.011	0	0	0	0	0.063	○	0.021
10	31	742	0.009	0	0	0	0	0.056	○	0.022
11	30	718	0.011	0	0	0	0	0.047	○	0.022
12	29	712	0.008	0	0	0	0	0.046	○	0.014
1	31	742	0.009	0	0	0	0	0.061	○	0.025
2	28	669	0.009	0	0	0	0	0.030	○	0.014
3	31	742	0.016	0	0	0	0	0.065	○	0.031
通年	363	8700	0.012	0	0	0	0	0.113	○	0.032

日平均値の2%除外値(mg/m³):

0.025

環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m³を超えた日数:

0

一般局倉吉

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%			
4	30	718	0.013	0	0	0	0	0.028	○	0.022
5	31	742	0.013	0	0	0	0	0.034	○	0.024
6	30	718	0.013	0	0	0	0	0.090	○	0.027
7	31	743	0.014	0	0	0	0	0.067	○	0.026
8	29	705	0.015	0	0	0	0	0.087	○	0.037
9	30	719	0.010	0	0	0	0	0.074	○	0.018
10	23	584	0.007	0	0	0	0	0.056	○	0.016
11	30	714	0.009	0	0	0	0	0.032	○	0.019
12	31	739	0.008	0	0	0	0	0.045	○	0.015
1	31	741	0.009	0	0	0	0	0.046	○	0.021
2	28	666	0.008	0	0	0	0	0.025	○	0.012
3	31	741	0.015	0	0	0	0	0.063	○	0.034
通年	355	8530	0.011	0	0	0	0	0.090	○	0.037

日平均値の2%除外値(mg/m³):

0.026

環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m³を超えた日数:

0

一般局境港

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m3を超えた時間数とその割合			日平均値が0.10mg/m3を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m3を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%	mg/m3			
4	30	718	0.011	0	0	0	0	0	0.054	○	0.025
5	31	742	0.012	0	0	0	0	0	0.096	○	0.024
6	30	718	0.012	0	0	0	0	0	0.053	○	0.023
7	31	741	0.015	0	0	0	0	0	0.075	○	0.028
8	31	742	0.015	0	0	0	0	0	0.085	○	0.027
9	30	717	0.012	0	0	0	0	0	0.061	○	0.025
10	31	741	0.007	0	0	0	0	0	0.047	○	0.022
11	30	718	0.010	0	0	0	0	0	0.070	○	0.023
12	31	742	0.006	0	0	0	0	0	0.075	○	0.014
1	31	741	0.009	0	0	0	0	0	0.149	○	0.029
2	28	669	0.007	0	0	0	0	0	0.040	○	0.014
3	31	741	0.017	0	0	0	0	0	0.079	○	0.044
通年	365	8730	0.011	0	0	0	0	0	0.149	○	0.044

日平均値の2%除外値(mg/m3): 0.027
 環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m3を超えた日数: 0

自排局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m3を超えた時間数とその割合			日平均値が0.10mg/m3を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m3を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%	mg/m3			
4	30	717	0.008	0	0	0	0	0	0.050	○	0.018
5	31	737	0.008	0	0	0	0	0	0.088	○	0.023
6	30	719	0.011	0	0	0	0	0	0.093	○	0.026
7	31	735	0.011	0	0	0	0	0	0.094	○	0.033
8	30	733	0.012	0	0	0	0	0	0.094	○	0.030
9	30	718	0.008	0	0	0	0	0	0.083	○	0.016
10	31	727	0.006	0	0	0	0	0	0.086	○	0.017
11	30	710	0.007	0	0	0	0	0	0.093	○	0.014
12	31	743	0.004	0	0	0	0	0	0.051	○	0.012
1	31	742	0.005	0	0	0	0	0	0.152	○	0.020
2	28	670	0.005	0	0	0	0	0	0.050	○	0.015
3	31	743	0.010	0	0	0	0	0	0.084	○	0.033
通年	364	8694	0.008	0	0	0	0	0	0.152	○	0.033

日平均値の2%除外値(mg/m3): 0.023
 環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m3を超えた日数: 0

自排局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値が0.20mg/m3を超えた時間数とその割合			日平均値が0.10mg/m3を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が0.10mg/m3を超えた日が2日以上連続	日平均値の最高値
				時間	%	日	%	mg/m3			
4	30	718	0.013	0	0	0	0	0	0.029	○	0.022
5	31	741	0.013	0	0	0	0	0	0.036	○	0.025
6	30	717	0.012	0	0	0	0	0	0.127	○	0.022
7	29	713	0.017	0	0	0	0	0	0.097	○	0.030
8	31	740	0.015	0	0	0	0	0	0.047	○	0.030
9	30	715	0.012	0	0	0	0	0	0.047	○	0.021
10	31	741	0.008	0	0	0	0	0	0.051	○	0.022
11	30	717	0.011	0	0	0	0	0	0.037	○	0.022
12	31	743	0.008	0	0	0	0	0	0.048	○	0.014
1	31	741	0.009	0	0	0	0	0	0.066	○	0.026
2	28	670	0.009	0	0	0	0	0	0.031	○	0.014
3	31	739	0.016	0	0	0	0	0	0.057	○	0.032
通年	363	8695	0.012	0	0	0	0	0	0.127	○	0.032

日平均値の2%除外値(mg/m3): 0.027
 環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m3を超えた日数: 0

表5-3 二酸化窒素(NO2)

一般局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の最高値
					時間	%	時間	%	日	%	日	%	
4	30	715	0.002	0.008	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
5	31	740	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
6	30	716	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
7	31	741	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
8	31	739	0.002	0.009	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
9	30	715	0.001	0.008	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
10	31	739	0.002	0.007	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
11	30	715	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
12	31	738	0.004	0.019	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
1	31	739	0.003	0.024	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007
2	28	668	0.004	0.020	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
3	31	741	0.002	0.011	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
通年	365	8706	0.002	0.024	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008

日平均値の98%値(ppm): 0.007
 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数: 0

一般局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の最高値
					時間	%	時間	%	日	%	日	%	
4	30	713	0.004	0.021	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
5	31	738	0.003	0.017	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007
6	30	713	0.002	0.012	0	0	0	0	0	0	0	0	0.005
7	28	693	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
8	31	734	0.002	0.020	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
9	30	714	0.002	0.016	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
10	31	738	0.003	0.020	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
11	30	713	0.004	0.029	0	0	0	0	0	0	0	0	0.009
12	31	738	0.005	0.021	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
1	31	737	0.006	0.029	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012
2	28	666	0.007	0.031	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015
3	31	738	0.005	0.026	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010
通年	362	8635	0.004	0.031	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015

日平均値の98%値(ppm): 0.01
 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数: 0

一般局倉吉

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の最高値
					時間	%	時間	%	日	%	日	%	
4	30	712	0.002	0.008	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
5	31	736	0.002	0.008	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
6	30	711	0.002	0.006	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
7	31	736	0.002	0.010	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
8	31	736	0.002	0.005	0	0	0	0	0	0	0	0	0.002
9	30	711	0.002	0.007	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
10	28	691	0.002	0.007	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003
11	30	711	0.002	0.008	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
12	31	732	0.003	0.015	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
1	31	736	0.003	0.011	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
2	28	664	0.003	0.032	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
3	31	735	0.002	0.011	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
通年	362	8611	0.002	0.032	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008

日平均値の98%値(ppm): 0.005
 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数: 0

自排局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の最高値
					時間	%	時間	%	日	%	日	%	
4	18	446	0.005	0.027	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007
5	30	726	0.005	0.017	0	0	0	0	0	0	0	0	0.009
6	30	716	0.004	0.013	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
7	31	740	0.004	0.017	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007
8	25	606	0.004	0.013	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
9	30	717	0.004	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
10	25	615	0.005	0.022	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008
11	8	193	0.006	0.023	0	0	0	0	0	0	0	0	0.009
12	0	0	***	***	0	***	0	***	0	***	0	***	***
1	0	0	***	***	0	***	0	***	0	***	0	***	***
2	25	611	0.008	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015
3	29	718	0.006	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011
通年	251	6088	0.005	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015

日平均値の98%値(ppm): 0.011
 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数: 0

自排局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の最高値
					時間	%	時間	%	日	%	日	%	
4	11	346	0.006	0.044	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011
5	26	623	0.005	0.037	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010
6	5	130	0.003	0.007	0	0	0	0	0	0	0	0	0.004
7	28	692	0.004	0.022	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
8	31	733	0.004	0.014	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006
9	30	709	0.004	0.017	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007
10	31	734	0.005	0.021	0	0	0	0	0	0	0	0	0.009
11	30	712	0.008	0.035	0	0	0	0	0	0	0	0	0.014
12	31	736	0.008	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.016
1	31	734	0.008	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.019
2	28	664	0.009	0.046	0	0	0	0	0	0	0	0	0.020
3	30	728	0.009	0.047	0	0	0	0	0	0	0	0	0.021
通年	312	7541	0.006	0.047	0	0	0	0	0	0	0	0	0.021

日平均値の98%値(ppm): 0.016
 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数: 0

表5-4 一酸化窒素(NO)

一般局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
4	30	715	0.000	0.006	0.000
5	31	740	0.000	0.002	0.000
6	30	716	0.000	0.005	0.001
7	31	741	0.000	0.008	0.002
8	31	739	0.000	0.008	0.002
9	30	715	0.001	0.011	0.005
10	31	739	0.000	0.004	0.001
11	30	715	0.000	0.004	0.001
12	31	738	0.001	0.020	0.004
1	31	739	0.001	0.042	0.004
2	28	668	0.001	0.008	0.002
3	31	741	0.000	0.023	0.001
通年	365	8706	0.000	0.042	0.005

日平均値の98%値(ppm): 0.003

一般局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
4	30	713	0.000	0.009	0.001
5	31	738	0.000	0.002	0.001
6	30	713	0.000	0.008	0.001
7	28	693	0.001	0.005	0.002
8	31	734	0.000	0.030	0.003
9	30	714	0.000	0.010	0.001
10	31	738	0.000	0.018	0.001
11	30	713	0.000	0.017	0.003
12	31	738	0.001	0.008	0.002
1	31	737	0.001	0.035	0.005
2	28	666	0.001	0.035	0.004
3	31	738	0.000	0.010	0.001
通年	362	8635	0.000	0.035	0.005

日平均値の98%値(ppm): 0.003

一般局倉吉

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
4	30	712	0.000	0.001	0.000
5	31	736	0.000	0.002	0.000
6	30	711	0.000	0.001	0.000
7	31	736	0.000	0.002	0.001
8	31	736	0.000	0.001	0.001
9	30	711	0.000	0.002	0.000
10	28	691	0.000	0.002	0.000
11	30	711	0.000	0.003	0.000
12	31	732	0.000	0.004	0.001
1	31	736	0.000	0.006	0.001
2	28	664	0.000	0.013	0.001
3	31	735	0.000	0.002	0.000
通年	362	8611	0.000	0.013	0.001

日平均値の98%値(ppm): 0.001

自排局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
4	18	446	0.001	0.085	0.004
5	30	726	0.001	0.009	0.002
6	30	716	0.002	0.127	0.015
7	31	740	0.003	0.024	0.011
8	25	606	0.002	0.012	0.005
9	30	717	0.001	0.034	0.004
10	25	615	0.001	0.023	0.004
11	8	193	0.002	0.03	0.006
12	0	0	***	***	***
1	0	0	***	***	***
2	25	611	0.002	0.024	0.003
3	29	718	0.001	0.016	0.002
通年	251	6088	0.002	0.127	0.015

日平均値の98%値(ppm): 0.005

自排局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
4	11	346	0.002	0.108	0.004
5	26	623	0.001	0.030	0.002
6	5	130	0.002	0.007	0.002
7	28	692	0.001	0.024	0.003
8	31	733	0.001	0.031	0.004
9	30	709	0.001	0.026	0.005
10	31	734	0.002	0.066	0.008
11	30	712	0.003	0.076	0.010
12	31	736	0.003	0.118	0.011
1	31	734	0.003	0.067	0.015
2	28	664	0.003	0.133	0.015
3	30	728	0.003	0.107	0.014
通年	312	7541	0.002	0.133	0.015

日平均値の98%値(ppm): 0.01

表5-5 窒素酸化物(NOx)

一般局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	平均値 NO2 / (NO+NO2)	日平均値の最高値
	日					
4	30	715	0.002	0.009	95.6	0.003
5	31	740	0.002	0.010	98.5	0.004
6	30	716	0.002	0.012	91.8	0.005
7	31	741	0.002	0.013	89.0	0.005
8	31	739	0.003	0.014	82.9	0.005
9	30	715	0.003	0.012	51.2	0.006
10	31	739	0.002	0.011	90.0	0.003
11	30	715	0.002	0.012	91.7	0.004
12	31	738	0.005	0.039	85.3	0.012
1	31	739	0.004	0.064	80.3	0.011
2	28	668	0.004	0.025	87.8	0.009
3	31	741	0.002	0.024	93.0	0.004
通年	365	8706	0.003	0.064	85.7	0.012

日平均値の98%値(ppm): 0.009

一般局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	平均値 NO2 / (NO+NO2)	日平均値の最高値
	日					
4	30	713	0.004	0.026	95.9	0.007
5	31	738	0.003	0.019	97.8	0.007
6	30	713	0.003	0.015	89.0	0.006
7	28	693	0.003	0.012	75.3	0.004
8	31	734	0.003	0.050	90.5	0.009
9	30	714	0.003	0.025	91.3	0.005
10	31	738	0.003	0.038	91.4	0.007
11	30	713	0.005	0.042	90.8	0.010
12	31	738	0.006	0.029	90.4	0.009
1	31	737	0.007	0.064	88.6	0.016
2	28	666	0.008	0.066	87.4	0.017
3	31	738	0.005	0.030	92.8	0.011
通年	362	8635	0.004	0.066	90.1	0.017

日平均値の98%値(ppm): 0.012

一般局倉吉

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	平均値 NO2 / (NO+NO2)	日平均値の最高値
	日					
4	30	712	0.002	0.008	98.6	0.003
5	31	736	0.002	0.010	99.4	0.004
6	30	711	0.002	0.006	94.3	0.003
7	31	736	0.002	0.012	89.6	0.003
8	31	736	0.002	0.006	91.9	0.003
9	30	711	0.002	0.007	96.7	0.003
10	28	691	0.002	0.009	98.1	0.003
11	30	711	0.002	0.011	98.4	0.004
12	31	732	0.003	0.016	91.3	0.007
1	31	736	0.003	0.016	91.7	0.006
2	28	664	0.004	0.045	93.8	0.009
3	31	735	0.003	0.013	96.9	0.004
通年	362	8611	0.002	0.045	94.7	0.009

日平均値の98%値(ppm): 0.005

自排局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	平均値 NO2 / (NO+NO2)	日平均値の最高値
	日					
4	18	446	0.006	0.103	81.4	0.010
5	30	726	0.005	0.020	87.3	0.009
6	30	716	0.006	0.131	67.1	0.020
7	31	740	0.007	0.040	59.0	0.018
8	25	606	0.006	0.022	66.7	0.011
9	30	717	0.006	0.066	76.1	0.011
10	25	615	0.007	0.036	78.6	0.011
11	8	193	0.009	0.045	71.4	0.015
12	0	0	***	***	***	***
1	0	0	***	***	***	***
2	25	611	0.010	0.057	82.5	0.018
3	29	718	0.007	0.040	87.4	0.012
通年	251	6088	0.007	0.131	75.8	0.020

日平均値の98%値(ppm): 0.015

自排局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	1時間値の最高値	平均値 NO2 / (NO+NO2)	日平均値の最高値
	日					
4	11	346	0.009	0.152	71.5	0.015
5	26	623	0.006	0.067	88.0	0.012
6	5	130	0.005	0.012	63.3	0.007
7	28	692	0.005	0.046	72.0	0.007
8	31	733	0.006	0.045	73.4	0.008
9	30	709	0.005	0.037	75.8	0.011
10	31	734	0.007	0.087	69.8	0.016
11	30	712	0.011	0.097	70.6	0.022
12	31	736	0.010	0.148	72.6	0.024
1	31	734	0.011	0.097	73.6	0.033
2	28	664	0.013	0.179	73.2	0.028
3	30	728	0.012	0.140	76.6	0.030
通年	312	7541	0.009	0.179	73.8	0.033

日平均値の98%値(ppm): 0.025

表5-6 一酸化炭素(CO)

一般局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	1時間値が30ppm以上となったことがある日数とその割合		日平均値の最高値
				回	%	日	%			日	%	
4	30	716	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
5	31	742	0.2	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.3
6	30	718	0.2	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.3
7	31	741	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
8	31	740	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
9	29	707	0.2	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.3
10	31	741	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
11	30	718	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
12	31	741	0.3	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
1	31	742	0.3	0	0	0	0	0.6	○	0	0	0.4
2	28	670	0.3	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.4
3	31	741	0.3	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.4
通年	364	8717	0.2	0	0	0	0	0.6	○	0	0	0.4

日平均値の2%除外値(ppm):

0.3

環境基準の長期的評価による日平均値が10.0ppmを超えた日数:

0

自排局鳥取

月	有効測定日数	測定時間	平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	1時間値が30ppm以上となったことがある日数とその割合		日平均値の最高値
				回	%	日	%			日	%	
4	30	718	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.2
5	31	742	0.1	0	0	0	0	2.2	○	0	0	0.5
6	30	718	0.1	0	0	0	0	0.8	○	0	0	0.2
7	31	742	0.1	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
8	31	742	0.1	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.2
9	30	717	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
10	31	742	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
11	30	717	0.3	0	0	0	0	1.6	○	0	0	0.5
12	31	742	0.3	0	0	0	0	0.7	○	0	0	0.4
1	31	742	0.3	0	0	0	0	0.8	○	0	0	0.4
2	28	670	0.2	0	0	0	0	0.6	○	0	0	0.4
3	31	739	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
通年	365	8731	0.2	0	0	0	0	2.2	○	0	0	0.5

日平均値の2%除外値(ppm):

0.4

環境基準の長期的評価による日平均値が10.0ppmを超えた日数:

0

自排局米子

月	有効測定日数	測定時間	平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	1時間値が30ppm以上となったことがある日数とその割合		日平均値の最高値
				回	%	日	%			日	%	
4	30	717	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
5	31	742	0.2	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.3
6	30	717	0.1	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.2
7	31	742	0.2	0	0	0	0	0.3	○	0	0	0.3
8	31	740	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.2
9	30	716	0.1	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.2
10	31	741	0.2	0	0	0	0	0.4	○	0	0	0.3
11	30	716	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
12	31	742	0.2	0	0	0	0	0.6	○	0	0	0.3
1	31	742	0.2	0	0	0	0	0.8	○	0	0	0.4
2	28	670	0.2	0	0	0	0	0.8	○	0	0	0.3
3	31	741	0.2	0	0	0	0	0.5	○	0	0	0.3
通年	365	8726	0.2	0	0	0	0	0.8	○	0	0	0.4

日平均値の2%除外値(ppm):

0.3

環境基準の長期的評価による日平均値が10.0ppmを超えた日数:

0

表5-7 光化学オキシダント(Ox)

一般局鳥取

月	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の平均値
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
4	30	450	0.042	7	27	0	0	0.073	0.052
5	31	465	0.046	13	69	0	0	0.083	0.056
6	30	449	0.030	0	0	0	0	0.059	0.039
7	31	465	0.021	0	0	0	0	0.048	0.030
8	31	465	0.022	0	0	0	0	0.060	0.033
9	30	443	0.023	0	0	0	0	0.046	0.031
10	31	464	0.027	0	0	0	0	0.058	0.037
11	30	431	0.027	0	0	0	0	0.048	0.038
12	31	465	0.025	0	0	0	0	0.046	0.033
1	31	465	0.024	0	0	0	0	0.040	0.031
2	28	420	0.031	0	0	0	0	0.055	0.040
3	31	465	0.036	4	21	0	0	0.072	0.044
通年	365	5447	0.029	24	117	0	0	0.083	0.038

8時間値の日最高値の年間99パーセンタイル値の3年平均値(ppm): 0.064

一般局米子

月	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の平均値
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
4	30	446	0.046	9	46	0	0	0.085	0.056
5	31	463	0.049	14	93	0	0	0.095	0.060
6	30	448	0.029	1	3	0	0	0.064	0.037
7	31	463	0.028	1	3	0	0	0.071	0.038
8	31	461	0.024	0	0	0	0	0.057	0.034
9	30	448	0.024	0	0	0	0	0.040	0.031
10	31	463	0.028	1	2	0	0	0.061	0.038
11	30	448	0.021	0	0	0	0	0.039	0.030
12	29	409	0.027	0	0	0	0	0.045	0.033
1	30	439	0.029	0	0	0	0	0.052	0.036
2	28	418	0.029	0	0	0	0	0.046	0.037
3	31	463	0.037	4	19	0	0	0.075	0.047
通年	362	5369	0.031	30	166	0	0	0.095	0.040

8時間値の日最高値の年間99パーセンタイル値の3年平均値(ppm): 0.067

一般局倉吉

月	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の平均値
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
4	30	448	0.048	11	68	0	0	0.083	0.058
5	31	463	0.051	17	118	0	0	0.092	0.063
6	30	448	0.036	5	31	0	0	0.080	0.046
7	31	464	0.026	0	0	0	0	0.060	0.036
8	31	463	0.027	2	6	0	0	0.067	0.040
9	30	448	0.029	0	0	0	0	0.055	0.039
10	31	463	0.032	2	6	0	0	0.064	0.044
11	30	448	0.033	1	4	0	0	0.070	0.044
12	31	456	0.032	0	0	0	0	0.052	0.039
1	31	463	0.033	0	0	0	0	0.053	0.040
2	28	418	0.036	0	0	0	0	0.060	0.045
3	31	463	0.044	7	40	0	0	0.082	0.053
通年	365	5445	0.035	45	273	0	0	0.092	0.045

8時間値の日最高値の年間99パーセンタイル値の3年平均値(ppm): 0.071

表5-8 微小粒子状物質(PM2.5)

一般局鳥取

月	有効測定 日数	測定時間	平均値	日平均値 の最高値	日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値 の最高値
					日	%	
4	30	719	8.8	14.8	0	0	28
5	31	742	9.5	16.8	0	0	24
6	30	718	8.8	17.1	0	0	22
7	31	742	8.7	15.0	0	0	25
8	31	743	8.8	15.7	0	0	24
9	30	719	7.1	13.0	0	0	18
10	31	742	6.1	11.5	0	0	22
11	28	690	7.6	16.3	0	0	23
12	31	743	6.5	10.5	0	0	34
1	31	742	7.1	19.4	0	0	36
2	28	671	7.6	11.8	0	0	27
3	31	743	12.4	22.4	0	0	46
通年	363	8714	8.3	22.4	0	0	46

日平均値の98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$): 18.8
 98%値評価による日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数: 0

一般局米子

月	有効測定 日数	測定時間	平均値	日平均値 の最高値	日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値 の最高値
					日	%	
4	30	718	12.9	22.7	0	0	63
5	31	742	12.8	23.0	0	0	44
6	30	718	11.3	21.0	0	0	38
7	29	710	11.0	19.5	0	0	39
8	30	725	9.9	20.2	0	0	30
9	30	718	8.2	15.2	0	0	24
10	31	743	7.1	18.6	0	0	34
11	30	718	10.8	21.6	0	0	39
12	31	743	7.8	13.0	0	0	36
1	31	742	9.0	25.0	0	0	65
2	28	669	9.1	13.8	0	0	36
3	31	742	14.2	25.9	0	0	49
通年	362	8688	10.3	25.9	0	0	65

日平均値の98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$): 21.6
 98%値評価による日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数: 0

一般局倉吉

月	有効測定 日数	測定時間	平均値	日平均値 の最高値	日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値 の最高値
					日	%	
4	30	718	11.8	22.2	0	0	56
5	31	742	12.1	22.7	0	0	54
6	30	717	10.5	24.0	0	0	50
7	31	740	9.0	16.3	0	0	39
8	31	740	9.7	24.5	0	0	42
9	30	718	7.2	12.5	0	0	45
10	30	730	5.6	17.3	0	0	49
11	0	0	***	***	0	***	***
12	25	607	7.8	11.9	0	0	40
1	31	742	8.4	21.0	0	0	50
2	28	670	8.2	11.1	0	0	35
3	31	742	14.0	24.8	0	0	63
通年	328	7866	9.5	24.8	0	0	63

日平均値の98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$): 22.2
 98%値評価による日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数: 0

一般局境港

月	有効測定 日数	測定時間	平均値	日平均値 の最高値	日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値 の最高値
					日	%	
4	30	717	9.5	18.9	0	0	29
5	31	742	10.9	19.7	0	0	63
6	30	718	7.3	14.6	0	0	26
7	31	740	6.4	13.9	0	0	24
8	31	742	6.5	13.7	0	0	23
9	30	717	5.1	10.6	0	0	21
10	31	741	5.3	17.3	0	0	29
11	30	718	8.3	18.2	0	0	43
12	31	742	5.6	11.7	0	0	36
1	31	741	7.0	20.7	0	0	45
2	28	669	7.5	13.4	0	0	40
3	31	741	12.1	23.8	0	0	43
通年	365	8728	7.6	23.8	0	0	63

日平均値の98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$): 19.5
 98%値評価による日平均値が35.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数: 0

(4) 経年変化 (一般環境大気測定局)

表6-1 二酸化いおうの測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)											
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
一般局鳥取 ^{注)}	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
一般局米子	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
一般局倉吉	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

表6-2 浮遊粒子状物質の測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (mg/m3)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.016	0.018	0.015	0.014	0.013	0.012	0.015	0.012	0.012	0.013	0.014
一般局米子	0.015	0.018	0.016	0.015	0.013	0.012	0.015	0.011	0.011	0.01	0.012
一般局倉吉	0.015	0.015	0.014	0.012	0.012	0.011	0.011	0.008	0.009	0.01	0.011
一般局境港	—	—	0.018	0.018	0.015	0.015	0.018	0.014	0.013	0.011	0.011

測定局区分	日平均値の2%除外値 (mg/m3)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.059	0.064	0.040	0.036	0.036	0.037	0.044	0.034	0.027	0.028	0.033
一般局米子	0.037	0.060	0.043	0.040	0.035	0.033	0.044	0.033	0.037	0.022	0.025
一般局倉吉	0.039	0.052	0.038	0.031	0.033	0.03	0.033	0.021	0.032	0.024	0.026
一般局境港	—	—	0.046	0.056	0.037	0.042	0.053	0.039	0.048	0.028	0.027

表6-3 二酸化窒素の測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.004	0.004	0.003	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002
一般局米子	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004
一般局倉吉	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002

測定局区分	年 間 98% 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.013	0.009	0.008	0.009	0.008	0.009	0.007	0.006	0.008	0.007	0.007
一般局米子	0.016	0.014	0.013	0.013	0.011	0.012	0.008	0.007	0.007	0.009	0.010
一般局倉吉	0.012	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005	0.01	0.005	0.005

表6-4 一酸化窒素の測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
一般局米子	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000
一般局倉吉	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000

表6-5 一酸化炭素の測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2

表6-6 光化学オキシダントの測定結果 (一般環境大気測定局)

測定局区分	昼間の1時間値の年平均値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.035	0.035	0.038	0.033	0.039	0.035	0.032	0.031	0.029	0.032	0.029
一般局米子	0.036	0.035	0.036	0.036	0.034	0.036	0.033	0.034	0.032	0.032	0.031
一般局倉吉	0.038	0.036	0.037	0.040	0.039	0.039	0.036	0.033	0.034	0.037	0.035

測定局区分	昼間の1時間値の年最高値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.087	0.091	0.099	0.096	0.092	0.108	0.095	0.096	0.08	0.082	0.083
一般局米子	0.087	0.088	0.089	0.11	0.108	0.106	0.084	0.121	0.083	0.088	0.095
一般局倉吉	0.088	0.093	0.093	0.111	0.101	0.089	0.09	0.11	0.082	0.094	0.092

表6-7 非メタン炭化水素の測定結果（一般環境大気測定局）

測定局区分	年 平 均 値 (ppmC)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	0.05	0.05	0.05	0.07	0.04	0.05	0.04	0.04	-	-	-

表6-8 全炭化水素の測定結果（一般環境大気測定局）

測定局区分	年 平 均 値 (ppmC)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	1.90	1.92	1.94	2.02	2.01	1.97	1.94	1.86	-	-	-

表6-9 微小粒子状物質（PM2.5）の測定結果（一般環境大気測定局）

測定局区分	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般局鳥取 ^{注)}	19.2	17.5	17.1	15.4	14.5	13.3	13.4	11.7	10.1	7.2	8.3
一般局米子	-	15.9	14.7	11.4	10.6	9.6	10.9	10.7	12.1	10.1	10.3
一般局倉吉	-	-	14.4	12.9	12.1	11.9	11.8	10.1	9.7	8.2	9.5
一般局境港	-	-	13.0	10.5	7.6	7.7	9.1	8.1	7.6	7.4	7.6

注) 一般局鳥取については、平成14年11月までは「(旧) 衛生研究所(鳥取市松並町2丁目)」、平成27年4月までは「鳥取保健所(鳥取市江津730)」、平成27年5月からは「県庁西町分庁舎(鳥取市西町1-401)」で測定を実施。また、平成30年度から鳥取市の中核市移行に伴い、鳥取市が測定を実施。

(5) 経年変化(自動車排出ガス測定局)

表6-10 浮遊粒子状物質の測定結果(自動車排出ガス測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (mg/m ³)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.017	0.018	0.016	0.015	0.013	0.014	0.013	0.011	0.008	0.007	0.008
自排局米子	0.018	0.021	0.018	0.016	0.017	0.016	0.016	0.013	0.012	0.010	0.012

測定局区分	日平均値の2%除外値 (mg/m ³)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.047	0.059	0.042	0.039	0.034	0.044	0.043	0.042	0.034	0.020	0.023
自排局米子	0.055	0.072	0.047	0.042	0.047	0.036	0.039	0.035	0.042	0.024	0.027

表6-11 二酸化窒素の測定結果(自動車排出ガス測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.012	0.011	0.01	0.009	0.008	0.008	0.008	0.007	0.006	0.007	0.005
自排局米子	0.009	0.009	0.01	0.008	0.008	0.008	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006

測定局区分	年 間 98% 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.027	0.021	0.019	0.017	0.019	0.017	0.014	0.014	0.013	0.016	0.011
自排局米子	0.023	0.020	0.019	0.017	0.018	0.017	0.015	0.014	0.014	0.013	0.016

表6-12 一酸化窒素の測定結果(自動車排出ガス測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.005	0.004	0.003	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
自排局米子	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

表6-13 一酸化炭素の測定結果(自動車排出ガス測定局)

測定局区分	年 平 均 値 (ppm)										
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
自排局鳥取	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
自排局米子	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2

注) (旧)自排局鳥取については「丸山交差点(鳥取市青葉町3丁目)」で測定を実施。
また、自排局鳥取は平成30年度から鳥取市の中核市移行に伴い、鳥取市が測定を実施。

2 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

(1) 個別結果(R4年度)

表7-1 アクリロニトリル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	(0.0047)	(< 0.0012) ~	0.026
一般環境米子	12	0.029	(< 0.0018) ~	0.045
一般環境倉吉	12	0.044	(< 0.0018) ~	0.083
沿道鳥取	12	(0.0031)	(< 0.0012) ~	0.011
沿道米子	12	0.041	(< 0.0018) ~	0.065

表7-2 アセトアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.3	0.75 ~	2.2
一般環境米子	12	1.3	0.44 ~	2.0
一般環境倉吉	12	0.82	0.28 ~	1.3
沿道鳥取	12	1.4	0.72 ~	2.1
沿道米子	12	0.89	0.30 ~	1.9

表7-3 塩化ビニルモノマー

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	(0.0042)	(< 0.0026) ~	0.017
一般環境米子	12	0.010	(0.0021) ~	0.068
一般環境倉吉	12	0.0085	(< 0.0015) ~	0.049
沿道鳥取	12	(0.0029)	(< 0.0026) ~ (< 0.012)	
沿道米子	12	0.0092	(< 0.0015) ~	0.058

表7-4 塩化メチル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.2	0.88 ~	1.6
一般環境米子	12	1.5	1.0 ~	1.8
一般環境倉吉	12	1.4	0.94 ~	1.8
沿道鳥取	12	1.2	0.92 ~	1.7
沿道米子	12	1.5	1.1 ~	2.0

表7-5 クロム及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.1	0.27 ~	3.9
一般環境米子	12	3.4	0.80 ~	11
一般環境倉吉	12	2.1	0.70 ~	6.1

表7-6 クロロホルム

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.12	0.066 ~	0.20
一般環境米子	12	0.15	0.079 ~	0.24
一般環境倉吉	12	0.16	0.080 ~	0.24
沿道鳥取	12	0.12	0.059 ~	0.20
沿道米子	12	0.16	0.077 ~	0.24

表7-7 酸化エチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.048	0.023 ~	0.10
一般環境米子	11	0.071	0.049 ~	0.088
一般環境倉吉	11	0.070	0.050 ~	0.089

表7-8 1,2-ジクロロエタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.087	0.025 ~	0.26
一般環境米子	12	0.11	0.051 ~	0.27
一般環境倉吉	12	0.11	0.053 ~	0.22
沿道鳥取	12	0.083	0.024 ~	0.25
沿道米子	12	0.11	0.049 ~	0.26

表7-9 ジクロロメタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.66	0.35 ~	1.1
一般環境米子	12	0.57	0.30 ~	1.0
一般環境倉吉	12	0.59	0.30 ~	1.1
沿道鳥取	12	0.80	0.46 ~	1.6
沿道米子	12	0.58	0.27 ~	0.99

表7-10 水銀及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.3	0.55 ~	1.9
一般環境米子	12	1.5	1.0 ~	2.0
一般環境倉吉	12	1.2	0.89 ~	1.7

表7-11 テトラクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	(0.010)	(< 0.006) ~	0.059
一般環境米子	12	0.077	(< 0.006) ~	0.14
一般環境倉吉	12	0.026	(< 0.006) ~	0.061
沿道鳥取	12	(0.005)	(< 0.005) ~ (< 0.014)	
沿道米子	12	0.025	(< 0.006) ~	0.046

表7-12 トリクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.027	(< 0.0019) ~	0.092
一般環境米子	12	0.094	(< 0.006) ~	0.57
一般環境倉吉	12	0.031	(< 0.006) ~	0.12
沿道鳥取	12	0.014	(< 0.0019) ~	0.063
沿道米子	12	0.13	0.011 ~	0.59

表7-13 トルエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.2	0.45 ~	2.5
一般環境米子	12	3.0	0.43 ~	10
一般環境倉吉	12	1.1	0.35 ~	1.7
沿道鳥取	12	1.5	0.65 ~	3.2
沿道米子	12	1.3	0.76 ~	2.6

表7-14 ニッケル化合物

(単位: ng/m^3)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.0	0.21 ~	2.4
一般環境米子	12	2.5	0.81 ~	5.9
一般環境倉吉	12	1.4	0.18 ~	3.8

表7-15 ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	1.2	0.072 ~	4.8
一般環境米子	12	2.0	0.18 ~	7.7
一般環境倉吉	12	1.9	0.18 ~	7.5

表7-16 1,3-ブタジエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	(0.0044)	(< 0.0022) ~ (0.014)	
一般環境米子	12	0.027	(< 0.004) ~	0.062
一般環境倉吉	12	0.022	(< 0.004) ~	0.047
沿道鳥取	12	0.015	(0.005) ~	0.035
沿道米子	12	0.033	(< 0.004) ~	0.11

表7-17 ベリリウム及びその化合物

(単位:ng/m³)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.0075	(< 0.0011) ~	0.030
一般環境米子	12	0.016	(< 0.004) ~	0.077
一般環境倉吉	12	0.036	(< 0.004) ~	0.29

表7-18 ベンゼン

(単位:μg/m³)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.42	0.14 ~	0.87
一般環境米子	12	0.52	0.18 ~	1.0
一般環境倉吉	12	0.47	0.16 ~	0.96
沿道鳥取	12	0.52	0.19 ~	1.1
沿道米子	12	0.56	0.23 ~	1.2

表7-19 ベンゾ[a]ピレン

(単位:ng/m³)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	0.067	0.0027 ~	0.17
一般環境米子	12	0.069	0.0016 ~	0.13
一般環境倉吉	12	0.092	0.020 ~	0.33
沿道鳥取	12	0.069	0.0048 ~	0.21
沿道米子	12	0.091	0.025 ~	0.20

表7-20 ホルムアルデヒド

(単位:μg/m³)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	2.2	1.2 ~	4.0
一般環境米子	12	1.6	0.56 ~	2.8
一般環境倉吉	12	1.0	0.37 ~	2.3
沿道鳥取	12	2.5	1.5 ~	5.9
沿道米子	12	1.3	0.47 ~	2.6

表7-21 マンガン及びその化合物

(単位:ng/m³)

区分	検体数	年平均値	最小値	最大値
一般環境鳥取	12	5.8	0.81 ~	21
一般環境米子	12	15	4.2 ~	59
一般環境倉吉	12	11	1.6 ~	36

備考1 年平均値の算出方法について

月毎の測定値が検出下限値未満のときは、当該測定における測定結果を検出下限値の1/2として年平均値を算出しています。なお、この方法により算出した年平均値が、全測定の最大の検出下限値未満の数値であった場合は、その値を括弧書きで表示しています。

備考2 濃度範囲(最小値~最大値)の表示方法について

・ある月における測定結果が検出下限未満であり、かつ当該測定結果が最小値又は最大値であったときは、「<(検出下限値)」として表示しています。
 ・ある月における測定結果が検出下限以上定量下限値未満であり、かつ当該測定結果が最小値又は最大値であったときは、「(測定値)」として表示しています。

(2)経年変化

表8-1 アクリロニトリル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.018	0.016	0.027	0.011	0.020	0.015	0.010	0.0120	0.0059	0.012	0.008	0.0047
一般環境米子	0.016	0.017	0.025	0.013	0.022	0.019	0.015	0.017	0.011	0.015	0.019	0.029
一般環境倉吉	0.014	0.010	0.045	0.0099	0.020	0.016	0.010	0.0180	0.018	0.022	0.030	0.044
沿道鳥取	0.025	0.015	0.027	0.020	0.026	0.020	0.014	0.017	0.019	0.020	0.010	0.0031
沿道米子	0.026	0.013	0.028	0.014	0.024	0.018	0.016	0.020	0.0094	0.015	0.027	0.041

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.046、沿道0.062 指針値: 年平均値 $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-2 アセトアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.54	0.68	0.85	1.6	2.3	2.6	2.5	1.3	0.80	0.66	0.94	1.3
一般環境米子	0.79	0.85	1.0	1.6	1.4	2.0	1.9	1.0	1.0	1.0	1.8	1.3
一般環境倉吉	0.77	0.87	0.98	1.4	1.6	2.1	1.5	1.1	1.0	0.91	1.5	0.82
沿道鳥取	0.88	1.1	1.2	1.4	1.7	2.1	1.7	1.0	1.1	0.90	1.5	1.4
沿道米子	1.1	0.81	0.99	1.6	1.8	2.1	1.7	1.4	1.1	0.91	1.9	0.89

【参考】 R3全国年平均値: 一般2.1、沿道2.2 指針値: 年平均値 $120\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-3 塩化ビニルモノマー

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.015	0.013	0.018	0.0058	0.024	0.013	0.0067	0.015	0.0096	0.0067	0.008	0.0042
一般環境米子	0.011	0.012	0.018	0.0017	0.029	0.015	0.012	0.015	0.0082	0.0084	0.0050	0.010
一般環境倉吉	0.014	0.012	0.017	0.0024	0.025	0.013	0.0095	0.018	0.010	0.0075	0.0050	0.0085
沿道鳥取	0.013	0.013	0.020	0.016	0.021	0.011	0.0067	0.014	0.0084	0.0062	0.008	0.0029
沿道米子	0.014	0.012	0.019	0.0017	0.029	0.015	0.0085	0.008	0.0083	0.0083	0.0050	0.0092

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.037、沿道0.024 指針値: 年平均値 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-4 塩化メチル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	-	1.4	1.6	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.5	1.5	1.2
一般環境米子	-	1.4	1.6	1.4	1.5	1.5	1.4	1.5	1.3	1.6	1.5	1.5
一般環境倉吉	-	1.4	1.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.4
沿道鳥取	-	1.3	1.7	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.5	1.5	1.2
沿道米子	-	1.5	1.7	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.4	1.7	1.5	1.5

【参考】 R3全国年平均値: 一般1.4、沿道1.4 指針値: 年平均値 $94\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-5 クロム及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	2.6	2.3	2.3	2.4	1.3	1.6	0.57	1.0	1.4	1.9	1.9	1.1
一般環境米子	3.8	4.1	6.7	4.5	2.2	3.3	1.1	1.8	2.4	2.6	3.6	3.4
一般環境倉吉	2.2	2.2	1.5	2.2	1.2	0.8	0.46	0.87	1.4	1.9	1.2	2.1
沿道鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沿道米子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考】 R3全国年平均値: 一般1.4、沿道1.4

表8-6 クロロホルム

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.13	0.12	0.18	0.12	0.17	0.18	0.18	0.15	0.17	0.19	0.15	0.12
一般環境米子	0.14	0.12	0.19	0.14	0.18	0.18	0.19	0.15	0.20	0.19	0.16	0.15
一般環境倉吉	0.14	0.12	0.19	0.13	0.16	0.18	0.18	0.16	0.18	0.19	0.17	0.16
沿道鳥取	0.13	0.12	0.20	0.13	0.16	0.17	0.17	0.15	0.17	0.18	0.16	0.12
沿道米子	0.14	0.12	0.19	0.14	0.17	0.18	0.20	0.15	0.18	0.19	0.16	0.16

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.24、沿道0.19 指針値: 年平均値 $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-7 酸化エチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.043	0.055	0.022	0.018	0.017	0.018	0.0088	0.012	0.034	0.038	0.039	0.048
一般環境米子	0.047	0.066	0.032	0.035	0.024	0.033	0.016	0.025	0.033	0.034	0.038	0.071
一般環境倉吉	0.019	0.054	0.031	0.028	0.020	0.032	0.018	0.024	0.030	0.035	0.039	0.070
沿道鳥取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沿道米子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.24、沿道0.19

表8-8 1,2-ジクロロエタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.15	0.15	0.19	0.093	0.13	0.12	0.16	0.13	0.17	0.20	0.11	0.087
一般環境米子	0.15	0.14	0.20	0.096	0.13	0.13	0.16	0.14	0.18	0.21	0.13	0.11
一般環境倉吉	0.15	0.13	0.19	0.095	0.13	0.11	0.17	0.15	0.19	0.20	0.13	0.11
沿道鳥取	0.14	0.14	0.26	0.096	0.13	0.11	0.15	0.13	0.17	0.19	0.11	0.083
沿道米子	0.15	0.13	0.20	0.099	0.13	0.13	0.16	0.14	0.18	0.21	0.13	0.11

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.12、沿道0.13 指針値: 年平均値 $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-9 ジクロロメタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.57	0.48	0.81	0.56	0.55	0.61	0.62	0.62	0.66	0.790	0.73	0.66
一般環境米子	3.2	1.1	3.3	3.9	0.89	0.58	0.59	0.49	0.61	0.70	0.61	0.57
一般環境倉吉	0.48	0.34	0.66	0.40	0.50	0.53	0.58	0.52	0.62	0.67	0.60	0.59
沿道鳥取	0.69	0.45	0.88	0.47	0.57	0.65	0.65	0.66	0.76	0.84	0.81	0.80
沿道米子	2.4	1.0	2.2	2.2	0.69	0.55	0.59	0.52	0.68	0.69	0.61	0.58

【参考】 R3全国年平均値: 一般1.3、沿道1.7 環境基準値: 年平均値 $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ ($150\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下

表8-10 水銀及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.95	0.87	1.4	1.5	2	2.0	2.5	2.5	1.8	1.2	1.7	1.3
一般環境米子	1.3	1.2	1.5	1.3	1.3	1.7	1.6	1.6	1.5	1.3	1.6	1.5
一般環境倉吉	0.99	1.1	1.5	1.5	1.4	1.8	2.2	2.5	2.2	1.8	1.5	1.2
沿道鳥取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沿道米子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【参考】 R3全国年平均値: 一般1.3、沿道1.7 指針値: 年平均値 $0.04\mu\text{gHg}/\text{m}^3$ ($40\text{ngHg}/\text{m}^3$)以下

表8-11 テトラクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.06	0.044	0.048	0.029	0.035	0.038	0.028	0.026	0.031	0.035	0.017	0.010
一般環境米子	0.17	0.15	0.18	0.13	0.089	0.098	0.094	0.072	0.059	0.065	0.057	0.077
一般環境倉吉	0.038	0.028	0.056	0.027	0.032	0.034	0.029	0.024	0.032	0.032	0.029	0.026
沿道鳥取	0.043	0.060	0.046	0.031	0.035	0.039	0.030	0.026	0.035	0.035	0.018	0.005
沿道米子	0.041	0.029	0.044	0.033	0.031	0.047	0.030	0.025	0.032	0.033	0.031	0.025

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.087、沿道0.090 環境基準値: 年平均値 $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ ($200\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下

表8-12 トリクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.11	0.073	0.072	0.075	0.080	0.080	0.034	0.069	0.074	0.077	0.054	0.027
一般環境米子	0.08	0.063	0.054	0.037	0.051	0.047	0.057	0.061	0.063	0.093	0.091	0.094
一般環境倉吉	0.042	0.023	0.041	0.025	0.032	0.026	0.024	0.029	0.032	0.038	0.033	0.031
沿道鳥取	0.09	0.13	0.12	0.073	0.076	0.11	0.042	0.060	0.096	0.10	0.12	0.014
沿道米子	0.096	0.083	0.077	0.047	0.062	0.060	0.077	0.093	0.084	0.14	0.097	0.13

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.33、沿道0.33 環境基準値: 年平均値 $0.13\text{mg}/\text{m}^3$ ($130\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下

表8-13 トルエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	-	1.5	1.6	1.5	1.1	1.4	1.2	1	0.89	1.2	0.77	1.2
一般環境米子	-	2.8	6.0	4.7	2.7	4.3	3.5	3.9	2.6	3.2	4.2	3.0
一般環境倉吉	-	2.2	2.0	1.5	1.4	1.8	1.2	0.9	1.4	1.8	1.4	1.1
沿道鳥取	-	3.2	2.9	1.8	2.5	2.3	1.5	1.4	1.5	1.7	1.1	1.5
沿道米子	-	3.3	4.0	2.1	3.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.3

【参考】 R3全国年平均値: 一般5.4、沿道8.3

表8-14 ニッケル化合物

(単位: ng/m^3)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	2.2	2.0	1.9	2.0	1.3	1.5	0.78	0.91	0.96	1.2	1.6	1.0
一般環境米子	2.4	3.0	3.2	3.8	1.6	2.1	0.88	1.6	1.5	2.2	2.8	2.5
一般環境倉吉	2.0	1.6	1.8	2.7	1.0	1.0	0.38	0.91	1.1	1.2	0.77	1.4
沿道鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沿道米子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考】 R3全国年平均値: 一般2.1、沿道2.7 指針値: 年平均値 $0.025 \mu\text{gNi}/\text{m}^3$ ($25\text{ngNi}/\text{m}^3$) 以下

表8-15 ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	2.0	1.3	1.2	1.4	1.4	2.2	0.85	1.3	1.3	1.1	1.0	1.2
一般環境米子	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	2.2	0.99	1.3	1.3	1.2	1.4	2.0
一般環境倉吉	1.6	1.2	1.1	1.5	1.5	2.2	0.89	1.4	1.4	1.5	1.5	1.9
沿道鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沿道米子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.82、沿道0.93 指針値: 年平均値 $6\text{ng-As}/\text{m}^3$ 以下

表8-16 1,3-ブタジエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.070	0.043	0.049	0.047	0.037	0.038	0.026	0.029	0.014	0.024	0.026	0.0044
一般環境米子	0.091	0.047	0.13	0.057	0.055	0.052	0.052	0.053	0.029	0.036	0.048	0.027
一般環境倉吉	0.068	0.044	0.094	0.089	0.047	0.042	0.036	0.041	0.046	0.039	0.031	0.022
沿道鳥取	0.19	0.10	0.13	0.094	0.088	0.091	0.057	0.074	0.048	0.044	0.054	0.015
沿道米子	0.13	0.071	0.079	0.075	0.065	0.059	0.068	0.064	0.080	0.037	0.047	0.033

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.058、沿道0.087 指針値: 年平均値 $2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

表8-17 ベリリウム及びその化合物

(単位: ng/m^3)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.039	0.059	0.071	0.036	0.013	0.014	0.01	0.007	0.013	0.017	0.007	0.0075
一般環境米子	0.039	0.045	0.055	0.036	0.014	0.014	0.01	0.036	0.017	0.019	0.013	0.016
一般環境倉吉	0.032	0.053	0.054	0.041	0.014	0.014	0.01	0.007	0.016	0.019	0.015	0.036
沿道鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沿道米子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.013、沿道0.018

表8-18 ベンゼン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.73	0.70	0.74	0.49	0.59	0.65	0.44	0.46	0.44	0.53	0.49	0.42
一般環境米子	0.79	0.70	0.84	0.56	0.63	0.70	0.58	0.55	0.51	0.59	0.52	0.52
一般環境倉吉	0.70	0.68	0.83	0.53	0.59	0.66	0.50	0.49	0.52	0.57	0.51	0.47
沿道鳥取	1.1	1.0	1.1	0.72	0.77	0.85	0.61	0.61	0.60	0.67	0.59	0.52
沿道米子	1.0	0.8	0.92	0.66	0.71	0.76	0.67	0.56	0.60	0.65	0.57	0.56

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.71、沿道0.89 環境基準値: $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ ($3 \mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下

表8-19 ベンゾ[a]ピレン

(単位:ng/m³)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	0.072	0.064	0.047	0.050	0.052	0.097	0.074	0.051	0.039	0.052	0.025	0.067
一般環境米子	0.087	0.074	0.063	0.066	0.063	0.11	0.076	0.066	0.059	0.058	0.035	0.069
一般環境倉吉	0.061	0.062	0.037	0.038	0.051	0.12	0.076	0.047	0.058	0.044	0.023	0.092
沿道鳥取	0.078	0.072	0.045	0.055	0.059	0.093	0.080	0.057	0.052	0.061	0.027	0.069
沿道米子	0.095	0.081	0.067	0.069	0.066	0.10	0.076	0.066	0.062	0.071	0.051	0.091

【参考】 R3全国年平均値: 一般0.15、沿道0.13

表8-20 ホルムアルデヒド

(単位:μg/m³)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	1.0	0.84	1.2	1.2	0.89	1.3	1.1	0.89	1.0	1.4	1.2	2.2
一般環境米子	1.1	1.0	1.5	1.2	1	1.3	1.1	1.1	1.0	2.0	1.8	1.6
一般環境倉吉	0.92	0.95	1.1	1.3	0.8	0.93	0.97	0.69	1.1	1.3	1.1	1.0
沿道鳥取	1.0	1.3	0.87	1.3	1	1.0	1.3	0.81	1.1	1.6	1.6	2.5
沿道米子	1.1	1.1	1.3	1.5	1.2	1.2	1.1	0.96	1.1	1.6	1.5	1.3

【参考】 R3全国年平均値: 一般2.4、沿道2.6

表8-21 マンガン及びその化合物

(単位:ng/m³)

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般環境鳥取 ^{注)}	16	15	13	11	8.2	5.4	4.1	6.7	9.1	12	5.3	5.8
一般環境米子	16	17	16	15	9.9	10	5.2	8.5	15	16	10	15
一般環境倉吉	13	11	9.1	12	8.2	5.8	3.8	7.6	13	13	7.1	11
沿道鳥取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沿道米子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【参考】 R3全国年平均値: 一般15、沿道21

指針値: 年平均値0.14 μgMn/m³(140ngMn/m³)以下

注)一般環境鳥取については、平成14年11月までは「(旧)衛生研究所(鳥取市松並町2丁目)」、平成27年4月までは「鳥取保健所(鳥取市江津730)」、平成27年5月からは「県庁西町分庁舎(鳥取市西町1-401)」で測定を実施。

V 大気の汚染に係る環境基準と評価方法

V 大気汚染に係る環境基準と評価方法

1 環境基準

大気汚染に係る環境基準は、環境基本法第16条の規定に基づき、環境庁告示により、環境上の条件について人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として、従来から二酸化いおう、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、二酸化窒素、光化学オキシダントの5物質について定められている。

また、平成8年5月に大気汚染防止法が改正され、大気汚染による人の健康に係る被害が生ずるおそれの程度（健康リスク）がある程度高いと考えられる有害大気汚染物質を測定することとされ、中でも、健康リスクが比較的高く、排出等を早急に抑制しなければならないとして、平成9年2月にベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンについて、平成13年4月にジクロロメタンについて環境基準が設定された。

さらに、平成21年9月に環境上の条件について人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として微小粒子状物質が追加された。

表 9-1 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件	達成期間等	測定方法
二酸化いおう	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	維持され又は原則として5年以内において達成されるよう努めるものとする。	溶液導電率法又は紫外線蛍光法
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	維持され、又は早期に達成されるよう努めるものとする。	濾過捕集による重量濃度測定法又はこの方法によって測定された重量濃度と直線的な関係を有する量が得られる光散乱法、圧電天びん法、若しくはベータ線吸収法
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする。	非分散型赤外分析計を用いる方法
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること。	1 1時間値の1日平均値が0.06ppmを超える地域にあっては、1時間値の1日平均値0.06ppmが達成されるよう努めるものとし、その達成期間は原則として7年以内とする。 2 1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmまでのゾーン内にある地域にあっては、原則として、このゾーン内において現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることをとらないよう努めるものとする。	ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法

物質	環境上の条件	達成期間等	測定方法
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする。	中性ヨウ化カリウム溶液を用いる吸光度法若しくは電量法、紫外線吸収法又はエチレンを用いる化学発光法
微小粒子状物質	1年平均値が15 μ g/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35 μ g/m ³ 以下であること。	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする。	大気汚染の状況を的確に把握することができる場所において、濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。	継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質に係るものであることにかんがみ、将来にわたって人の健康に係る被害が未然に防止されるようにすることを旨として、その維持又は早期達成に努めるものとする。	キャニスター若しくは捕集管により採取した試料をガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法又はこれと同等以上の性能を有すると認められる方法
トリクロロエチレン	1年平均値が0.13mg/m ³ 以下であること。		
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。		
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。		

備考

- 1 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については、適用しない。
- 2 浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10 μ m以下のものをいう。
- 3 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離させるものに限り、二酸化窒素を除く）をいう。
- 4 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5 μ mの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。
- 5 環境基準の制定等の推移
 - 昭和48年5月8日環境庁告示第25号（一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント）
 - 昭和48年5月16日環境庁告示第35号（二酸化いおう）
 - 昭和53年7月11日環境庁告示第38号（二酸化窒素）
 - 昭和56年6月17日環境庁告示第47号
 - 平成8年10月25日環境庁告示第73号
 - 平成9年2月4日環境庁告示第4号（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）
 - 平成13年4月20日環境省告示第30号（ジクロロメタン）
 - 平成21年9月9日環境省告示第33号（微小粒子状物質）
 - 平成30年11月19日環境省告示第100号

2 評価方法

環境基準による大気汚染の評価方法については、次のように取り扱うこととされている。

表 9-2 環境基準による大気汚染の評価方法

物質	環境基準による評価方法	
二酸化イオウ	短期的評価	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
	長期的評価	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が、0.04ppm以下であること。 ただし、1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。
浮遊粒子状物質	短期的評価	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
	長期的評価	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が、0.10mg/m ³ 以下であること。 ただし、1日平均値が0.10mg/m ³ を超える日が2日以上連続しないこと。
一酸化炭素	短期的評価	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
	長期的評価	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外した値が、10ppm以下であること。 ただし、1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素	短期的評価	1時間値の1日平均が0.04~0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること。
	長期的評価	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの（1日平均値の年間98%値）が0.06ppm以下であること。
光化学オキシダント	昼間（5～20時）の時間帯における1時間値が0.06ppm以下であること。	
微小粒子状物質	長期的評価	測定結果の1日平均値のうち年間98パーセントタイル値が35μg/m ³ 以下であること。
		測定結果の1年平均値が15μg/m ³ 以下であること。

備考

- 1 短期的評価は、連続して又は随時に行った観測結果により、観測を行った日又は時間について評価するもの。
- 2 長期的評価は、大気汚染に対する施策の効果等を的確に判断するためなど、年間にわたる測定結果を長期的に観察したうえ、評価するもの。
- 3 日平均値の評価に当たっては、1時間値の欠測が、1日（24時間）のうちの4時間を超える日は評価対象としない。したがって、20時間以上測定された日のみを対象とし、これを有効測定日という。
- 4 年間にわたって長期的に評価する場合、年間の測定時間が6000時間以上の測定局を対象とし、これを有効測定局という。（光化学オキシダントを除く）
- 5 ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンについては、評価の短期・長期別の評価はなく、年平均値で評価する。

3 大気中炭化水素（非メタン）濃度の指針

炭化水素は、窒素酸化物とともに光化学オキシダントの原因物質であることから、これについての環境基準を達成させるために、「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針（昭和51年8月13日中央公害対策審議会答申）」が、行政上の目標として、次のとおり示されている。

表 9-3 光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度指針

物質	濃度の指針
非メタン炭化水素	午前6時から9時までの3時間平均値が、0.20ppmCから0.31ppmC（炭素量への換算値）までの範囲またはそれ以下であること。

4 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値

平成15年7月31日に中央環境審議会の答申（今後の有害大気汚染物質対策のあり方について：第七次答申）が出され、優先取組物質のうち、環境基準が設定されていないアクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀、ニッケル化合物の4物質について、「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）」が設定された。

また、平成18年11月8日に同審議会の第八次答申により、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエンの3物質についての指針値が設定され、平成22年10月15日付第九次答申によりヒ素及びその化合物の指針値が、平成26年4月30日付第十次答申によりマンガン及びその化合物の指針値が、令和2年8月20日に同審議会の第十二次答申により塩化メチル、アセトアルデヒドの2物質の指針値が設定されている。

答申では、本指針値を「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るために設定されたものであり、環境基本法第16条に基づき定められている行政目標としての環境基準とは性格及び位置付けは異なる」「現に行われている大気モニタリングの評価に当たっての指標や事業者による排出抑制努力の指標としての機能を果たすことが期待される」と位置づけている。

表 9-4 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値

物質名	指針値
アクリロニトリル	年平均値 $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
アセトアルデヒド	年平均値 $120\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
塩化ビニルモノマー	年平均値 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
塩化メチル	年平均値 $94\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
クロロホルム	年平均値 $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
1,2-ジクロロエタン	年平均値 $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
水銀及びその化合物	年平均値 $0.04\mu\text{g Hg}/\text{m}^3$ 以下
ニッケル化合物	年平均値 $0.025\mu\text{g Ni}/\text{m}^3$ 以下
ヒ素及びその化合物	年平均値 $6\text{ng-As}/\text{m}^3$ 以下
1,3-ブタジエン	年平均値 $2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
マンガン及びその化合物	年平均値 $0.14\mu\text{g Mn}/\text{m}^3$ 以下

5 緊急時の基準

大気汚染防止法第23条で、気象条件からみて当該大気の汚染の状態が継続すると認められるときには、緊急時の措置を行うこととされており、その基準は次のとおりである。

表 9-5 緊急時の基準

物質	緊急時の措置を行う基準（第23条関係）	
	大気の汚染が著しくなり、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずるおそれがある場合として、ばい煙排出量の減少又は自動車の運行の自主的制限について協力を求めるときの基準（23条1項）	大気の汚染が急激に著しくなり、人の健康又は生活環境に重大な被害が生ずる場合として、ばい煙排出者に対する施設使用制限その他の措置命令又は都道府県公安委員会に対する道路交通法の規定による措置要請を行うときの基準（23条2項）
硫黄酸化物	1 1時間値が0.2ppm以上である大気の汚染の状態が3時間継続した場合 2 1時間値が0.3ppm以上である大気の汚染の状態が2時間継続した場合 3 1時間値が0.5ppm以上である大気の汚染の状態になった場合 4 1時間値の48時間平均値が0.15ppm以上である大気の汚染の状態になった場合	1 1時間値が0.5ppm以上である大気の汚染の状態が3時間継続した場合 2 1時間値が0.7ppm以上である大気の汚染の状態が2時間以上継続した場合
浮遊粒子状物質	1時間値が2.0mg/m ³ 以上である大気の汚染の状態が2時間継続した場合	1時間値が3.0mg/m ³ 以上である大気の汚染の状態が3時間継続した場合
一酸化炭素	1時間値が30ppm以上である大気の汚染の状態になった場合	1時間値が50ppm以上である大気の汚染の状態になった場合
二酸化窒素	1時間値が0.5ppm以上である大気の汚染の状態になった場合	1時間値が1ppm以上である大気の汚染の状態になった場合
オキシダント	1時間値が0.12ppm以上である大気の汚染の状態になった場合	1時間値が0.4ppm以上である大気の汚染の状態になった場合